

第5章 都市基盤

基本施策5-01 土地利用

施策5-01-01 計画的な土地利用の推進

施策の展開方向①秩序ある土地利用の促進

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課	
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27		H26～H27 合計
区域区分等の見直し	都市計画マスタープラン等におけるまちづくり計画に即し、また、農林漁業との健全な調和を図りつつ、都市の健全な発展と秩序ある整備を一層推進する。 社会経済情勢、ライフスタイル等の変化に対応するため、また集約型都市構造(コンパクトシティ)への転換を目指し、市街化区域と市街化調整区域との区分や用途地域、高度地区などの指定の見直しを検討する。	H23	345	0	0	8,000	0	8,000	都市計画課
		H24	0	0	0				
		H25	0	0	0				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針		
平成23年度に市街化区域及び市街化調整区域並びに用途地域等の見直しを行い、平成24年度は特定保留区域であった七条西町地区の市街化区域への編入及び用途地域等の地域地区の指定、鶴舞東町地区の高度地区の変更を行った。平成25年度は、他の特定保留区域の市街化区域への編入の見極めや、社会経済情勢等の変化による現行の用途地域等の見直しの可否の検討を行った。					特定保留区域については、土地利用計画が定まれば市街化区域への編入及び用途地域等の決定の手続きを進める。また、現行の用途地域等についても、社会経済情勢等の変化に応じた土地利用の規制誘導を進めるための見直しの可否の検討を行う。さらに、次期定期見直しに向けた都市計画基礎調査を行う。			喜多 六宏	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課	
		H24～H26	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27		H26～H27 合計
都市計画マスタープランの見直し	都市計画マスタープランは、市町村がその創意工夫の下に住民の意見を反映し、将来の都市像を示し都市づくりのビジョンを明確化することを目的としている。 現行都市計画マスタープランは策定後約10年が経過するが、その間の社会経済情勢の変化及び上位計画である奈良市第4次総合計画等の策定を受け、改訂を行う。	H23	0	0	0	1,598	0	1,598	都市計画課
		H24	7,695	3,445	3,650				
		H25	4,100	4,396	1,871				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針		
平成24年度において奈良市都市計画マスタープラン策定委員会、作業部会、ワークショップ等の組織づくりや住民意向調査を実施し、現行都市計画マスタープランの評価や課題整理を行った。 平成25年度には、策定委員会等やワークショップを行い、全体構想の取りまとめ作業を行った。					新たなまちづくりのビジョン実現化方策の検討を行い、広く住民の意見を聴取した上で実情に合致した都市計画マスタープランの見直し作業を行う。			喜多 六宏	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計	
地区計画制度	市街化区域では、相当規模の住宅地事業及び土地区画整理事業等が行われる地区について、基盤施設の整備や生活環境を保全するため、また、市街化調整区域においては、無秩序な開発を防止するとともに、地域の活性化や市街化区域隣接地、幹線道路沿道及び鉄道駅周辺等における土地利用の整序を図るために地区計画制度を活用する。 さらに、良好な住宅地としての環境を保全する地区等についても、市民参加による地区計画制度の導入を図る。	H23	690	259	0	943	943	1,886	都市計画課
		H24	1,001	592	0				
		H25	1,105	147	0				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価						課題及び今後の方針	
新たな地区計画の決定を東登美ヶ丘五丁目地区及び鶴舞東町地区で決定し、地区計画を定めている地区数が35地区となった。 また、あやめ池遊園地跡地地区計画の変更を行い、さらに地区計画の変更に向けた地元の意向に応じ、地元との協議を進めた。						地元要望や地域地区等の変更に伴う地区計画の導入について積極的な対応を行う。 また、変更案の固まった百楽園五丁目地区については都市計画の変更に向けた手続きを行う。			喜多 六宏

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計	
まちづくり支援制度	市民が、よりよい地域づくりを目指し、自主的に進める身近なまちづくり活動に対して支援を行い、市民参加のまちづくりを推進する。 まちづくり支援制度の活用による、アドバイザー・コンサルタント派遣及びまちづくり活動費への補助など、地域に最適な支援を行うことにより住民参加のまちづくりの実現を図る。	H23	40	0	0	80	80	160	都市計画課
		H24	130	0	0				
		H25	120	0	0				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価						課題及び今後の方針	
まちづくりの気運がある2地区の自治連合会において、まちづくりの検討等をするに当たり、外部のアドバイザー派遣を積極的に活用してもらえよう制度の説明等を行ったが、その活用には至らなかった。 制度の活用のため、より広範囲の市民への周知に努める必要がある。						制度の活用を推進するため、市民への周知に努め、地元が活用しやすい方策を検討する。			喜多 六宏

施策の展開方向②地籍調査の推進

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
地籍調査事業	<p>土地の戸籍とも言うべき登記簿及び公図は、そのほとんどが明治初期の地租改正時に作成されたもので、土地の境界、面積等が不正確なため、行政活動や経済活動に支障を来している。そのため、地籍調査事業を実施し、土地情報の基礎となる地籍を明確化することで、個人の土地取引から公共事業の実施、まちづくり等土地に関するあらゆる行為のための基礎データとして活用できる。</p> <p>本事業は、国土調査法に基づき、土地の基本単位となる一筆一筆の土地について、その所有者、地目、地番、筆界を調査し、面積の測量を行って、地籍図及び地籍簿を作成するとともに成果を法務局に送り込む事業である。</p>	H23	26,000	21,853	0	22,700	24,904	47,604	都祁行政センター業務課		
		H24	23,840	23,568	0						
		H25	23,719	20,508	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
<p>都祁地域において、平成25年度は都祁小山戸町の0.69km<sup>2</sup>を完了した。平成25年度末で都祁地域は43.89km<sup>2</sup>のうち25.17km<sup>2</sup>が完了し、進捗率は57.35%となった。平成27年度の目標値は67.0%であるが、達成は困難な状況である。奈良市全体では、269.38km<sup>2</sup>のうち59.79km<sup>2</sup>が完了し、進捗率は22.20%である。</p>					<p>都祁地域は、平成35年度完了を目途に事業を推進しているが、財政が厳しい中実施計画面積の縮小を余儀なくされ、完了年度を延長せざるを得ない状況である。事業推進に当たり土地境界等の精通者の高齢化及び減少に伴い境界の立会等に支障が出てきており、事業実施の体制を強化する必要がある。</p>			久保 英樹			

施策の展開方向③住居表示及び町界町名の整備

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
住居表示整備事業	<p>住所の表示を合理的でわかりやすくすることにより、市民生活の向上を図ることを目的として、住所がわかりにくくなっている区域を中心に、地元の理解と協力を得ながら、住居表示に関する法律等を適用し、住所の整備を行う。</p>	H23	10,688	4,094	0	955	15,869	16,824	地域活動推進課		
		H24	13,538	1,303	0						
		H25	2,100	1,638	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
<p>中登美ヶ丘五丁目を新設し、中登美ヶ丘六丁目、法蓮佐保山四丁目、西登美ヶ丘八丁目を編入した。また、近鉄西大寺駅南周辺における菅原町の住居表示実施に向けて地元調整を行ったが、合意が得られず区域全体の同時実施を断念し、合意のできた横領町(一部約100世帯)を西大寺国見町二丁目に編入した。1町の新設、4町の編入実施のため、平成25年度末で住居表示実施町としては231町となった。</p>					<p>近鉄西大寺駅南土地区画整理事業区域及び合意済地域の住居表示を実施する。また、南新町(みなみしんちょう)と南新町(みなみしんまち)の同一町名の解消に向けては住居表示の手法ではなく町界・町名整備の手法での実施を予定しているため、平成27年度住居表示実施目標町の239町は達成できないが、同等の効果があるものと判断する。</p>			澤野井 保			

基本施策5-02 景観

施策5-02-01 奈良らしい景観の形成

施策の展開方向①歴史と文化を活用したまちづくり

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
奈良町景観形成地区 建造物保存整備事業	伝統的な町家が多く残る奈良町の景観を保全し、後世に伝えるために、伝統的な様式の建物を保存し、その他の建築物についても町並みに調和するよう誘導することにより町並みの連続性を保ち、奈良町の良好な歴史的景観を維持し、さらには伝統文化の継承、観光振興と地域の活性化を図る。	H23	30,300	6,672	0	20,000	20,000	40,000	奈良町にぎわい課		
		H24	31,700	22,791	0						
		H25	20,200	19,472	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
平成23年度に、奈良町補助事業に関する相談会を開催して、住民に事業内容を説明した。平成23年度は5件の塀及び外観の修理修景に、平成24年度は6件の修理修景に、平成25年度は8件の屋根・塀・外観の新築・修理修景などに費用の一部を補助した。さらに、「ならまち町家建物内部改修モデル事業」の要綱を策定し、補助金の交付を開始した。					近年、貴重な観光資源である奈良町の町家が急速に減少している。奈良町の伝統的な町並みを保存するには、継続的に町家に住み、活用することが重要である。減少の要因は所有者の高齢化によるところも大きい。若い世代に対しては、現在の生活スタイルや目的に合った内部及び外観改修の効用を周知する必要がある。加えて、空き町家や空き地の減少を目指す施策も検討する。			立石 堅志			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H24～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
歴史まちづくり法を 活用した事業	奈良町、ならきたまちななどの歴史的な地域の建造物は老朽化し、生活様式の変化に伴い建て替えられ、失われている。また、高齢化による伝統的な祭りや行事、産業の担い手不足による伝統的活動の衰退が顕著であることから、歴史的環境の衰退、衰容に歯止めをかける必要がある。それには、まちづくりを担うそれぞれの分野、領域、主体が連携し一体となって歴史・文化を生かしたまちづくりを推進し、各々が目標像を明確化、共有化することが重要である。 そのためにも、歴史的風致維持向上計画の認定を受け、歴史まちづくり関連事業の交付金拡充を図る。	H23	0	0	0	800	2,000	2,800	景観課		
		H24	0	0	0						
		H25	5,000	181	4,620						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
平成25年度に「奈良市歴史的風致維持向上計画」を策定するため、3省庁(国土交通省、文化庁、農林水産省)協議が始まり、なら歴史まちづくり協議会を開催し、計画認定に向けて進み出した。					「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律(平成20年11月施行)」に基づく「奈良市歴史的風致維持向上計画」を文化財課と連携し、事業関係各課と協議し策定する。また、きたまちを含むならまち全域を重点地区とし、きたまちエリアでの都市景観形成地区保存整備を目指す。計画については平成26年度内に大臣認定を目指す。			松村 誠一			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H25～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
文化観光資源の保全 活用	世界遺産である薬師寺・唐招提寺のバッファゾーンは、古都保存法及び風致地区条例により景観保全をしている。また、眺望景観保全活用計画でも、大池からの大和青垣への眺望、秋篠川から薬師寺への眺望を重点眺望景観と指定している。 しかし、県道奈良大和郡山斑鳩線より東側のハーモニーゾーンは、景観計画による景観誘導のみで景観保全が十分でない。 このことからバッファゾーンも含めた景観保全の対策を早急に講ずる必要があるとともに、この地域は文化観光資源の集積地なので、視点場の整備や新たな観光ルートの開発等を図っていく必要がある。	H23	0	0	0	0	0	0	景観課		
		H24	0	0	0						
		H25	0	0	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
平成24年度は、奈良市景観計画に薬師寺周辺歴史的景観形成重点地区を組み込んだ改正素案を作成し、平成25年度から奈良市景観審議会で審議を開始した。			世界遺産を含む大池からの眺望景観エリアのハーモニーゾーンは、その多くが市街化調整区域となっているので、無秩序な沿道サービス等の開発の恐れがある。 このことから、当該ゾーンの薬師寺、唐招提寺など西の京周辺の文化観光資源を保全、活用するために検討を行う。			松村 誠一					

施策の展開方向②地域の景観特性に即した景観づくり

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
景観修景助成事業	なら・まほろば景観まちづくり条例による届出制度では、新たに新築、改築等の行為を行う場合に誘導規制が適用される。 しかし、既存の建築物、工作物、屋外広告物には適用されないため、景観計画に定める景観形成重点地区内の既存不適格建築物、工作物、屋外広告物の早期解消に向け修景工事に支援を行う。	H23	10,000	2,183	0	6,500	6,500	13,000	景観課		
		H24	9,000	2,168	0						
		H25	8,000	0	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
平成23年度は、建築物の修景(外壁塗装)1件、屋外広告物の撤去2件の助成、平成24年度は、建築物の修景(外壁塗装)1件、屋外広告物の撤去1件の助成、平成25年度は0件であった。平成21年度から事業を継続実施しているので、既存不適格建築物等は減少している。			景観計画に定める景観形成重点地区内にある既存不適格建築物、工作物、屋外広告物の修景に対して助成を行い、既存不適格建築物、工作物、屋外広告物の早期解消を図る。 また、景観形成を推進するための協力が得られるように、広報等を工夫していく。			松村 誠一					

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～H24	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
眺望景観保全活用計画策定事業	なら・まほろば景観まちづくり条例や各種制度による景観保全・形成・活用と合わせた総合的な景観施策を展開するため、奈良らしい眺望景観の保全活用の計画を定め、世界に誇る歴史文化、自然環境の保全や観光資源としての活用、市民生活の質の向上を図る。	H23	5,000	3,378	0	0	0	0	景観課		
		H24	644	424	0						
		H25	0	0	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
平成23年度に眺望景観保全活用計画を策定し、15か所の重点眺望景観を指定した。また、それらの重点眺望景観について、保全及び活用の方針を明確にしたことで、景観形成の施策の方向性が示された。これを受けて、平成24年度に眺望景観の視点を組み込んだ景観計画の改正作業を行った。平成25年度は奈良市景観審議会で審議を開始した。					今後は、眺望景観に関する基本理念条例の制定を目指す。また、眺望景観の視点を奈良市歴史的風致維持向上計画にも組み込み、多くの歴史的、文化的、自然的遺産を守るために施策を展開する。			松村 誠一			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H24～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
第2次景観計画策定事業	眺望景観保全活用計画を景観計画に組み込み、眺望景観の視点から景観形成重点地区を新たに指定し、心のふるさとである奈良らしい景観を後世に伝える。	H23	0	0	0	583	583	1,166	景観課		
		H24	3,000	2,913	0						
		H25	618	37	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
奈良市景観計画に、平成23年度に策定した眺望景観保全活用計画を組み込んだ改正案を平成24年度に作成し、平成25年度から奈良市景観審議会での審議を開始した。					平成26年度は、奈良市景観計画素案に市民の意見を取り入れるとともに、景観審議会での案の策定を行う。平成27年度は、景観計画案を奈良国際文化観光都市建設審議会に諮問し、その後景観計画を決定し、周知期間を経て施行する。 市民に理解してもらえるよう、周知方法を工夫する。			松村 誠一			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
屋外広告物の規制誘導	屋外広告物が乱立すると、歴史的景観や自然的景観を損ない、公衆に危害を与えるおそれがある。 このことから、奈良市屋外広告物条例に基づき、禁止地域の設定や許可地域における許可行為など屋外広告物の規制誘導を図る。	H23	0	0	0	0	0	0	景観課		
		H24	0	0	0						
		H25	0	0	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
平成23年度は地区計画が定められた6地区に、平成24年度は2地区に、平成25年度には2地区に屋外広告物の規制を盛り込んだ。地区の特性に応じた規制内容とすることで、景観計画の地域別基本方針に即した景観形成を図ることができた。					地域特性に応じた良好な景観形成を推進するために、地区計画に屋外広告物規制の追加や景観保全型広告整備地区の指定などの施策を展開する。			松村 誠一			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～H26	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
電線類共同溝の整備 【5-04-01①「都市計画道路の整備」の内数】	都市計画道路の電線類共同溝の整備を行うことにより、道路構造の保全を図りつつ、安全かつ円滑な交通の確保と良好な景観形成を図る。 (整備延長 三条線 490m×2(両側)・大宮三条本町線 230m)	H23	53,800	12,443	15,681	25,913	0	25,913	街路課		
		H24	51,750	38,693	28,653						
		H25	25,937	54,590	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
三条線(上三条工区)及び大宮三条本町線については1年の遅れが生じたが、用地取得等を進め平成25年度に電線共同溝の整備を完了した。 平成23年度200m、平成24年度305m、平成25年度254mの整備を行い、全体では平成25年度末で3,274mの延長が完了した。					三条線(三条工区)は用地買収の進捗を図るとともに整備手法を検討し、平成26年度で残延長の86mの整備を完了予定である。 なお、抜柱、入線時期については、各事業者と協議中である。			山上 光明			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
電線類美化事業	<p>奈良の魅力は世界遺産に登録された八資産群はもちろんのこと、歴史を積み重ねた街並みや、そこから望む風景も貴重な文化遺産として守り伝えることが必要である。</p> <p>特にならまち周辺は観光スポットとして注目を浴び、興福寺・元興寺など天平時代の甍を借景とするならまち独自の風景を楽しむ観光客が多くなり、景観を阻害している電線類を美化、軒下配線を行うことにより、快適な歩行空間の創出と景観の保全を図る。</p>	H23	10,000	0	0	10,000	10,000	20,000	道路建設課		
		H24	10,000	0	0						
		H25	500	0	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
<p>平成23年度は、電線美化事業整備計画案の提示を行い、地元住民とのワークショップを2回開催し、アンケート調査を実施し意見聴取を行った。その結果、事業実施への賛成意見は3割に満たない結果となり、地元住民の意向に沿った計画案の策定に至ることができなかった。</p> <p>平成24年度から平成25年度は、他の周辺7自治会の意見を聴取したが賛同は得られなかった。</p>			<p>ならまち周辺においては、事業実施に賛成意見が少ないことから、地元住民及び関係機関と再度協議を行いながら、新たな方策を検討する。また、平成26年度から三条線の無電線化に取り組む。</p>			中尾 能久					

### 施策の展開方向③自然環境の保全育成

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
歴史的風土の保存・風致地区の保全育成事業	<p>風致地区内における建築物等の規制により、歴史的風土の保存・風致地区の保全を行い歴史的風土の景観育成を図る。</p>	H23	0	0	0	0	0	0	景観課		
		H24	0	0	0						
		H25	0	0	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
<p>「古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法(古都法)」及び「奈良県風致地区条例」に基づき建築物等を、平成23年度は古都法106件、風致地区条例630件、平成24年度は古都法87件、風致地区条例751件、平成25年度は古都法175件、風致地区条例944件の許可を行った。</p> <p>その際に、当該建築物の位置、規模、形態及び意匠が周辺と著しく不調和にならないよう指導することで、古都奈良の景観保全を図った。</p>			<p>平成25年度から「奈良県風致地区条例」が権限移譲により、「奈良市風致地区条例」となったことから、より細やかな規制誘導方策を引き続き検討する。</p> <p>また、古都法とも連携した風致行政を推進する。</p>			松村 誠一					

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
森林保全・緑化推進事業	森林を保護・育成し森林の保全及び緑化推進の市民意識の向上を図る。また、奈良市巨樹等の保存及び緑化の推進に関する条例の施行に伴い巨樹等の指定、保存を行う。	H23	399	136	0	369	369	738	農林課		
		H24	399	30	0						
		H25	399	191	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
			平成25年度は、任期満了に伴う奈良市巨樹保存等審議会委員7名の委嘱を行うとともに、指定更新に係る現地調査及び審議会を2回開催し、8本の巨樹について指定更新を行った。			巨樹等の指定は平成15年度から開始されており、10年間の指定期間が満了する保存樹等について、樹勢等の確認を行いつつ指定更新を図るとともに、広報活動を引き続き実施する。			鈴木 治人		

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
都市と自然景観の調和	市街地には、河川や溜池、広がりのある農地などの自然や田園風景が都市景観に深みと潤いを与えており、これらの優れた景観要素の保全活用を図る。	H23	0	0	0	0	0	0	景観課		
		H24	0	0	0						
		H25	0	0	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
			平成23年度に眺望景観保全活用計画を策定し、15か所の重点眺望景観を指定した。また、それらの重点眺望景観について、保全及び活用の方針を明確にしたことで、景観形成の施策の方向性が示された。これを受けて、平成24年度に眺望景観の視点を組み込んだ景観計画の改正作業を行った。			河川や溜池、広がりのある農地などの自然景観や田園風景を保全活用するため、改正作業を行った景観計画を奈良市景観審議会において審議を行い、周知する。			松村 誠一		

施策の展開方向④協働による景観まちづくり

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
違反広告物を出さない街づくり推進団体支援	電柱、ガードレールあるいは街路樹などに無秩序、無制限に掲出されている違反広告物は街の美観を損ね、通行者の支障にもなっている。このような状態から美しい景観を守り、安全で快適な街づくりを市民との協働で推進する。	H23	379	246	0	346	346	692	景観課		
		H24	390	137	0						
		H25	366	246	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
<p>古都奈良にふさわしい景観形成を推進するために道路などの簡易広告物の撤去をする団体(古都奈良・美守り隊)による除去作業の支援を行った。</p> <p>また、古都奈良・美守り隊の募集を行い、平成23年度は23団体136名、平成24年度は29団体147名、平成25年度は26団体119名と3団体減となった。</p>					<p>古都奈良・美守り隊の募集を継続的にを行い、団体数が増加することにより、市民、事業者の自主的な景観まちづくり活動の実践に繋がり、景観への意識が高まるように支援する。また、団体の増加に向けて新たな広報活動を検討する。</p>			松村 誠一			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
景観まち活かし事業	景観活動を行っている市民団体や、独自のルールを設けて住環境を守ろうとしている自治会などに光を当て、それらの活動を活発化することにより、地域コミュニティの輪が広がり、より市民団体の活動が盛んになることが目的である。 また、景観活動団体や自治会等へ行政としての支援はもとより、協働して活動を行うなどして、より市民目線の景観施策を実行し、それに伴って市民の景観への関心や意識向上を図り、歴史ある奈良の景観を守り伝える。	H23	1,300	371	0	433	433	866	景観課		
		H24	1,000	158	0						
		H25	766	164	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
<p>平成23年度は、眺望景観に関するイベントや、なら・まちかど景観発掘隊との連動イベントを開催した。平成24年度は、なら・まちかど景観発掘隊との連動イベントとして、デジカメ教室を奈良町で開催した。平成25年度も、なら・まちかど景観発掘隊との連動イベントとして、デジカメ教室をきたまちで開催した。多くの方が、ファインダーを通して歴史的な街の新たな景観資源を発掘することができた。</p>					<p>景観まちづくり支援制度など、まちづくり活動を支援することで、一つでも多くのまちづくり活動が広がり、市民の景観意識の向上を醸成していく必要がある。</p>			松村 誠一			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
なら・まちかど景観発掘隊	<p>市民目線の優れた景観の発見と保全、また奈良らしくない景観の改善を目的に、行政からの一方通行ではない市民主体の協働による景観まちづくりの実現を目指す。</p> <p>そのために、素晴らしい景観や、古都奈良の景観に適さない改善すべき景観の情報を提供してもらう。</p> <p>町並みやまちかど等のちょっとした景観も景観資源であり、観光などに生かしていく方策を検討するため、資産としての登録などデータ化を図る。</p>	H23	700	214	0	191	191	382	景観課		
		H24	484	213	0						
		H25	406	109	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
<p>なら・まちかど景観発掘隊を、平成23年度は山の辺の道・奈良道周辺の地域で、平成24年度及び平成25年度は夏休み小学生スタンプラリーとデジカメ教室を兼ねた街歩きを奈良町、きたまちで開催した。スタンプラリーは古地図を基に実施したので、小学生にとって奈良町の歴史を知ることができる貴重な体験となった。また、デジカメ教室においても、ファインダーを通しての景観資源の発掘につながった。</p>			<p>奈良町に限らず、多くの地域でなら・まちかど景観発掘隊を開催することで、景観資源を蓄積し、それらを観光や街の活性化につなげていく必要がある。</p>			松村 誠一					

基本施策5-03 交通体系

施策5-03-01 交通利便性の向上

施策の展開方向①交通渋滞の緩和

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
パークアンドライドの実施	<p>春・秋の観光シーズンに、中心市街地において慢性的な渋滞が発生しているため、パークアンドライドを実施し、中心市街地への乗用車の流入を抑制することにより、交通渋滞の緩和と環境にやさしい観光の推進を図る。</p> <p>市役所駐車場を無料開放し、路線バスや無料のレンタサイクルを利用してもらうパークアンドライドを実施する。</p>	H23	3,759	3,507	0	4,600	4,600	9,200	交通政策課		
		H24	3,500	3,237	0						
		H25	4,200	3,313	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
<p>平成23年度は駐車台数1,155台、レンタサイクル1,414台の利用があり、平成24年度は駐車台数1,184台、レンタサイクル1,637台の利用があった。平成25年度は駐車台数2,828台(前年度比2.4倍)、レンタサイクル2,856台(前年度比1.7倍)となり、平成27年度目標値のうちレンタサイクル2,800台をクリアし、駐車台数3,000台には届かないものの、当事業の実施により市中心部での渋滞緩和対策に効果があった。</p>			<p>パークアンドライドの利用台数が大幅に増加し、奈良公園周辺での渋滞緩和に寄与している。利用者を媒体とし、自転車や公共交通による観光が広まるよう、引き続き本事業を実施する。</p>			藤田 雅弘					

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
自転車利用の推進	<p>観光のための移動手段としての自転車利用を推進することにより、環境への負荷を低減するとともに、車による交通渋滞を緩和する。</p> <p>市所有の電動アシスト自転車を活用して、観光客にレンタサイクル自転車で移動しやすい環境を提供する。</p>	H23	716	0	0	0	0	0	交通政策課		
		H24	0	0	0						
		H25	0	0	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
<p>市所有の電動アシスト自転車を、市で実施しているパークアンドサイクルライドとして平成23年度から活用している。アシスト自転車は人気が高く、パークアンドライド利用の誘因となると考えられる。また、県と連携して自転車を使いやすい環境を実現するため、自転車利用ネットワークの整備に向けた調整を行い、平成24年度に奈良県自転車利用促進計画に基づく連携・実施協定を締結した。</p>					<p>奈良県自転車利用促進計画に基づく、自転車走行空間の整備を進めることにより、市内外からの自転車利用者の増加が見込まれる。それに加え、市独自の自転車ルートの開拓などを行い、ホームページや各種広報手段を用い、自転車利用促進啓発を行う。</p>			藤田 雅弘			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
公共交通機関への利用転換による交通渋滞緩和施策	<p>春・秋の観光シーズンに、中心市街地において慢性的な渋滞が発生しているため、世界遺産の集積する奈良公園周辺への車の流入を減少させる。</p> <p>奈良への来訪交通を乗用車利用から公共交通機関への利用に誘導する施策を実施するが、観光客が情報収集する機会も多い、インターネットで情報を提供していく。</p>	H23	3,000	1,460	0	0	0	0	交通政策課		
		H24	0	0	0						
		H25	0	0	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
<p>奈良県・奈良市が共同で開催している奈良中心市街地公共交通活性化協議会において公共交通機関等への転換による交通渋滞緩和施策を実施する「奈良中心市街地公共交通総合連携計画(3か年)」を平成25年度に策定した。</p>					<p>策定した「奈良中心市街地公共交通総合連携計画」の実施計画を実行及び検証し、より実効性のある奈良公園周辺の渋滞対策を今後検討し、奈良公園周辺への車の流入を減少させる各種施策を実施する。</p>			藤田 雅弘			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～H24	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
JR奈良駅付近連続 立体交差事業	JR奈良駅周辺地区を本市の玄関口にふさわしいまちとするため、周辺道路の踏切を撤去し鉄道で分断されているまちの一体化を図ることを目的とした、関西本線・桜井線の連続立体交差事業を実施する。	H23	207,738	47,752	3,188	0	0	0	都市計画課		
		H24	113,374	108,463	0						
		H25	0	0	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
高架側道第1号・第2号・第3号の整備及び三条本町線の仮地下道の撤去、埋戻し工事に係る経費を共同事業者である奈良県に対して負担金を支払い、平成24年度をもって事業は完了した。								喜多 六宏			

施策の展開方向②高速交通体系の整備

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
リニア中央新幹線誘致	リニア中央新幹線の東京・大阪間の早期の全線同時開業及び奈良市附近への新たな駅の設置に向けて、一致協力して強力な運動を展開する。	H23	720	720	0	18,640	18,640	37,280	リニア推進課		
		H24	720	1,953	0						
		H25	12,640	8,628	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
平成25年1月の市町村長サミットにおいて、リニア中央新幹線新駅の奈良市内への設置実現に向けた意見発表を行った。 また、市民への周知活動の一環として、平成25年5月に市民フォーラム「リニア中央新幹線・奈良の魅力と未来」等を開催した。またリニア中央新幹線建設促進奈良県期成同盟会を通じ、計画に基づく誘致要望活動等にも取り組んだ。					リニア中央新幹線新駅を奈良市内に設置するため、市民への周知活動を積極的に行う。 また、リニア中央新幹線建設促進奈良県期成同盟会等の関係機関・団体と連携して、誘致活動を推進する。			山岡 利啓			

施策の展開方向③鉄道の利便性向上

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
鉄道輸送力増強に関する要望	鉄道の利便性向上(鉄道輸送力の増強)を図り、移動の快適性、鉄道輸送の安全確保を目指すために、JR奈良線の複線化及び関西本線の複線電化等利便性の向上及び輸送力の増強について、利用促進を図りながら関係機関とともに要望していく。	H23	799	792	0	101	101	202	交通政策課		
		H24	792	101	0						
		H25	101	101	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
<p>JR奈良線複線化促進協議会と関西本線複線電化促進連盟において、早期に鉄道の輸送力の増強が図れるように、JRとの協議を行った。</p> <p>JR奈良線においては、鉄道周辺の利用者に対してもアピールするためスタンプラリー、関西本線においては写真コンテストなどを実施した。</p>					<p>奈良市からの鉄道沿線への移動と奈良市への来訪を増やし、観光の利用促進を図るために、JR奈良線の複線化及び関西本線の複線電化等、鉄道の利便性向上に向け、JR奈良線複線化促進協議会と関西本線複線電化促進連盟での活動を続ける。</p>			藤田 雅弘			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
主要駅の交通結節点機能の強化	近鉄大和西大寺駅周辺では、鉄道線路により、南北に分断されているため、歩行者の通行が困難な状況にあり、地区の一体化を図る上での弊害となっている。 さらに南北に横断するための踏切の遮断時間も長く、駅周辺に交通渋滞が発生しているため、住民の利便性、安全性の向上や交通の円滑化を図る。 また、近鉄菖蒲池駅では、歩行者空間のバリアフリー化を図る。	H23	8,000	6,871	0	59,800	259,000	318,800	交通政策課		
		H24	10,000	9,078	0						
		H25	9,000	9,645	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
<p>近鉄大和西大寺駅周辺において駅の南北間を日常的に通行している高齢者と身体障がい者の方が無料で駅構内のエスカレーターやエレベーターを利用して駅の南北間を移動できる西大寺駅構内通行支援事業を平成23年6月から実施した。利用者は平成23年度63,556人(月平均6,356人)、平成24年度84,500人(月平均7,042人)、平成25年度91,534人(月平均7,628人)と年々増加し、利用者の利便性向上に寄与した。</p>					<p>近鉄大和西大寺駅においては、南北間の自由通路ができるまでは、西大寺駅構内通行支援事業を継続できるよう努める。</p> <p>また、近鉄菖蒲池駅については近鉄との調整を進め、地下道にエレベーターを整備することによりバリアフリー化を図る。</p>			藤田 雅弘			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課	
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27		H26～H27 合計
近鉄大和西大寺駅周辺の交通環境改善 (近鉄大和西大寺駅北地区)	市街地再開発事業に代わるまちづくり整備計画を立案し、市街地再開発事業の都市計画の廃止手続等が平成22年8月に完了した。 駅前広場や駅南北歩行者専用道等の整備を行い、都市基盤施設の強化を図る。 駅前広場 : 面積約4,000㎡ 歩行者専用道 : 北口昇降部分(階段等) 区画道路 : 延長103m、幅員6m	H23	800	630	0	318,000	688,435	1,006,435	西大寺駅周辺整備事務所
		H24	59,200	0	64,000				
		H25	328,000	36,584	10,000				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名	
平成23年度は、駅南北歩行者専用道計画の指標作成のため、菖蒲池8号階切交通量調査を実施した。 平成24年度は、12月に事業認可を受け、駅前広場を整備するための詳細設計委託の契約を行った。 平成25年度は、詳細設計及び建物等補償鑑定、測量設計を実施した。			都市基盤施設が脆弱なため、交通渋滞の緩和や交通環境の改善等の課題があり、用地買収を進め、駅前広場の整備を行っていく。			西野 恵次			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課	
		H24～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27		H26～H27 合計
バリアフリー基本構想の策定	バリアフリー基本構想制度は、施設が集積する地区において、面的・一体的なバリアフリー化を図ることを狙いとしている。 「高齢者・障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づき、奈良市バリアフリー基本構想を策定し、その中で旅客施設を中心とする地区や、高齢者、障がい者等が利用する施設が集まった地区を「重点整備地区」として設定することができるとされている。 また、基本構想に基づき面的なバリアフリー化を推進することによって、高齢者、障がい者等の移動等の円滑化を通じて、誰もが暮らしやすいまちづくりを進めることにつながる。	H23	0	0	0	8,600	0	8,600	交通政策課
		H24	9,000	68	8,100				
		H25	8,700	11,505	0				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名	
今後数年の間で取り組む必要のある事業、また取り組める事業について検証等を行い、基本構想策定の基本的な進め方や、取り組むべき施策の方向性を構築した。また、人口、高齢者数や障がい者数の推移、及び鉄道やバスなどの公共交通機関の利用状況等の基礎調査を行うとともに、基本構想庁内検討委員会及び市民参画による基本構想策定協議会を設置し、平成25年度に奈良市バリアフリー基本構想を策定した。			基本構想で定められた基本理念、取組方針等を実現するため、今後各事業者が、特定事業計画を作成し、また、当事者参画のもと、継続的に事業を推進していく体制を確立する。			藤田 雅弘			

施策の展開方向④地域公共交通の充実

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計	
生活路線バス運行委託	<p>平成17年の旧月ヶ瀬・都祁二村との合併に伴い新市としての一体感を醸成し、市内に立地する各種公共施設へのアクセスを確保するため新市建設計画の事業として生活路線バスの運行を奈良交通に委託し実施している。</p> <p>また、平成13年度から旧月ヶ瀬村が三重交通(株)に運行を委託していた自主運行バスについて、引き続き運行を委託し小学生のスクールバスとしても併用されている。</p> <p>生活路線バスは、JR奈良駅～石打間(日3往復)・JR奈良駅～都祁交流センター間(日3往復)を、自主運行バスは日5往復運行している。</p>	H23	29,200	29,649	0	30,549	30,549	61,098	交通政策課
		H24	29,700	29,699	0				
		H25	29,700	29,690	0				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価						課題及び今後の方針	
<p>生活路線バスの運行の年間実績については、奈良月ヶ瀬線(邑地中村～石打 平日・土曜が2.5往復、日祝日が3.5往復)が平成23年度3,795人、平成24年度3,772人、平成25年度が3,675人であった。奈良都祁線(下水間～奈良市都祁交流センター2往復、JR奈良駅～奈良市都祁交流センター1往復)が平成23年度3,768人、平成24年度3,433人、平成25年度3,801人といずれも利用者が少ない状態である。</p>						<p>沿線の住民に生活路線バスを利用して、市の中心部に移動してもらえるよう促し、利用者の増加を図るとともに、他の交通機関との連携を模索し、経費節減策を検討する。</p>		藤田 雅弘	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計	
コミュニティバス運行事業(都祁地域)	<p>都祁地域内においては、公共交通機関が充実していないことから、診療所・行政センター・交流センター・福祉センター等の公共施設や金融機関、商業施設等が集積する中心部への交通手段を確保するために、旧都祁村当時から、地域内巡回バスを運行することによって、地域公共交通の確保、充実を図ってきた。平成17年の合併により新市建設計画に基づいてコミュニティバスの導入を行った。都祁地域内を3方向に1日5～6便の運行を行い地域公共交通の確保・充実を図る。</p>	H23	14,070	14,299	0	14,781	14,781	29,562	都祁行政センター地域振興課
		H24	14,154	14,218	0				
		H25	14,236	14,008	0				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価						課題及び今後の方針	
<p>利用者の利便性と利用向上を図るためにコース変更、臨時便運行等を行い、六郷小学校遠距離通学生徒スクールバスとしても利用している。年間利用者数は平成24年度14,271人(スクールバス7,957人)、平成25年度20,108人(スクールバス15,115人)であった。</p> <p>診療所や買い物、通学等生活に密着したものであり、地域の実情に即した生活確保の一環として、必要不可欠の事業である。</p>						<p>交通手段の選択肢が少ない高齢者や障がい者の日常活動を支えるコミュニティバスとして運行し、交通資源の有効活用を図るため、六郷小学校遠距離通学生徒のスクールバスとしても利用し、利用者の増加促進と更なる利便性の向上及び効率化を図っていく。</p>		西畑 元嗣	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
公共交通空白地域での地域公共交通の検討	市内には、住宅が集中している地区でも、鉄道、バス利用が不便な公共交通空白地域がある。このような地区でも、高齢化が進んでいることから、公共交通サービスを提供するため、既存のバスサービスを補完する公共交通を検討する必要がある。 市内に分布する公共交通空白地域に対して、適応できる生活交通サービスルートなど、具体的な導入形態を明確にするための検討と実証運行を地元との協働で進める。	H23	5,000	3,150	0	2,400	20,000	22,400	交通政策課		
		H24	209	125	0						
		H25	2,300	0	1,696						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
		市内の公共交通空白地域で、平成23年度は事業化に向けて運行計画案の策定を行い、平成24年度は高齢者率が高い4つのモデル地区の中で、実証実験の実施にふさわしい地区として、敷島町一丁目、二丁目を実証実験対象地区に認定し、平成25年度は先進市、運送事業者、警察等と協議を重ね、敷島町において実行可能な運行計画を策定し、地元同意のもと、バス事業者と契約を締結した。			交通政策基本法の制定や、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が一部改正され、公共交通空白地域対策や既存バス路線の存廃対策を総合的に講じる必要性が高まっていることから、法定の協議会において持続可能な公共交通網を形成する計画を策定する。			藤田 雅弘			

基本施策5-04 道路

施策5-04-01 道路整備の推進

施策の展開方向①都市計画道路の整備

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
京奈和自動車道整備促進期成同盟会	京奈和自動車道整備促進期成同盟会は、奈良県下市町村が加入しており、各地域の道路整備促進等相互の連携を図り、京奈和道予算の拡充及び整備促進に寄与する。	H23	50	0	0	0	0	0	都市計画課		
		H24	0	0	0						
		H25	0	0	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
		関係省庁・機関等への陳情・要請を行った。 また、情報収集・交換並びに関係機関との調整及び啓発活動に取り組み、京奈和自動車道の早期実現に寄与することができた。			関係省庁・機関等への陳情・要請を行う。 また、期成同盟会の活動を通して「大和北道路」の整備促進を行う。			喜多 六宏			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～H24	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
都市計画道路網見直し業務	人口減少、少子高齢化社会の到来、厳しい財政的制約などの社会経済情勢の変化と本市の現状等を踏まえ、将来の道路整備の環境変化を把握し、未着手都市計画道路が本市の今後の都市計画道路のあり方に沿った計画となっているか総合的に点検・検証を行う。	H23	10,000	6,143	0	0	0	0	都市計画課		
		H24	6,000	0	5,177						
		H25	0	5,177	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
奈良県の「都市計画道路の見直しガイドライン」を踏まえ、都市計画道路が有する自動車の交通機能、歩行者等の交通機能及びまちづくりとの整合性の観点から未着手31路線のうち奈良県独自に見直し判断をする9路線を除く22路線について検証を行い、都市計画道路網見直し素案の作成を進めた。平成25年度も引き続き検証を続けたが、関係機関との調整に不測の日数を要したため、素案作成に至らなかった。					見直し素案において都市計画道路網全体の検証を行った上、パブリックコメントの実施、地元説明会の開催及び関係機関と協議を行い、再検証した上で都市計画変更案の作成を行う。特に、奈良県が決定権限を持つ都市計画道路については、十分な協議を行い市の見直し案との整合を図り進めて行く必要がある。			喜多 六宏			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
都市計画道路の整備	本市の都市計画道路の整備率は非常に低い水準である。よって、交通渋滞の解消となる幹線道路網を計画的かつ重点的に整備し、都市活動の中心地である主要駅と周辺の生活拠点や観光拠点を機能的に結ぶ誘導路を整備する。 三条線、大和中央道ほか(全10路線(11工区))	H23	2,247,900	1,237,493	673,000	872,700	1,132,600	2,005,300	街路課		
		H24	1,710,800	1,428,599	555,000						
		H25	1,240,700	1,103,762	154,900						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
限られた財源(交付金)を効果的に配分し、かつ工事内容等の精査を行い、事業進捗を図ったが、交付金の内示減や用地交渉の難航により、用地買収面積は平成23年度2,596㎡、平成24年度1,239㎡、平成25年度962㎡と減少した。 用地買収完了箇所を積極的、効率的に工事することにより、平成25年度末での整備率は53.1%と、平成24年度末と比べて0.3%の増となった。					継続して整備している路線(全8路線)については、関係機関との協議や用地交渉を積極的に行い、早期完成に努める。 また、その効果を見極めながら、新規路線についても地元と協議を重ね、整備計画を検討する。			山上 光明			

施策の展開方向②生活道路の新設・改良

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～H24	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
橋梁長寿命化修繕計画策定	橋長15m以上の橋梁と重要路線に架かる橋梁200橋を対象に、橋梁の安全性及び信頼性の確保を目的として、従来からの損傷発生後に行う「事後保全」から、計画的に行う「予防保全」へと方針転換を図り、財政負担の軽減を図る。 緊急輸送道路に架かる橋梁並びに跨線橋の中から損傷の著しい橋梁について、計画策定を行う。	H23	5,000	4,463	0	0	0	0	土木管理課		
		H24	10,000	8,400	0						
		H25	0	0	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
平成23年度は、「道路橋に関する基礎データ収集要領(案)(国土交通省国土技術政策総合研究所)」に準拠した点検方法を基本として、対象200橋のうち末点検の58橋について橋梁点検調査を実施した。平成24年度は、平成23年度までの橋梁点検調査結果に基づき、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、平成25年度以降は修繕事業実施担当課に引き継いだ。						木村 康貴					

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～H25	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
道路橋梁新設改良補助事業(中ノ川・梅美台線)	市東部地域の活性化と国道369号線の渋滞緩和を図るため、奈良市中ノ川町から木津川市梅美台を結ぶバイパス道路を整備する。  L=1,460m W=10m	H23	707,800	33,400	300,000	0	0	0	道路建設課		
		H24	630,000	528,942	265,560						
		H25	470,000	715,265	51,979						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
全体延長1,460mの内、トンネル部分以外の1,252mが平成22年度末で完了した。 トンネル部分を含む208mについて、平成23年度から3か年で工事を進め、平成25年度末で完了した。			供用開始に必要な国道369号線の車線拡幅を行い、早期に供用開始できるよう事業を進める。			中尾 能久					

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計	
道路橋梁新設改良単 独事業(一本松・小 倉線)	針テラスを中心に地場産業の振興や地域の 活性化を図ることを目的とし、名阪国道の一 本松・針・小倉インターを結ぶ幹線道路とし て整備する。  L=3,500m W=9.5m	H23	36,000	32,134	0	60,000	40,000	100,000	道路建設課
		H24	71,100	17,300	35,109				
		H25	70,000	55,648	35,390				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名	
針テラスに隣接した、整備計画延長250mの区間 について、平成23年度から工事を進めており、平 成25年度までに195mの概成整備が完了した。			事業延長が3,500mと長く、平成26年度末で の事業完了は困難な状況であったが、新市建 設計画が平成32年度まで延長されたことか ら、事業計画を延長し、早期に事業が完了す るよう進めていく。			中尾 能久			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計	
道路橋梁新設改良事 業	道路としての機能を高め、快適な生活環境 をつくり市民生活の向上を図ることを目的と して、市民生活に直結する生活道路(市道) を地元要望等に基づき整備する。	H23	507,800	332,836	62,477	376,300	328,000	704,300	道路建設課
		H24	430,000	316,279	206,513				
		H25	386,000	332,052	123,375				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名	
市民生活の利便性向上のため、道路の新設及び 改良を進めている。平成23年度は整備計画延長 1,665mに対し実施延長は1,522m、平成24年度は 計画延長1,735mに対し実施延長は1,622m、平成25 年度は計画延長882mに対し実施延長は919mとなっ た。			道路の改良及び新設は、市民生活の利便性 向上に直結することから要望箇所が多いた め、事業の優先順位を検討しながら積極的に 進めていく。			中尾 能久			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H26～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
橋梁長寿命化事業	橋梁の劣化や損傷をできる限り未然に防ぐため、奈良市橋梁長寿命化修繕計画の対象橋梁である200橋の中で、緊急輸送路や軌道上を跨ぐ橋梁など優先度の高い橋梁から順次長寿命化修繕工事等を実施する。	H23	0	0	0	74,000	90,000	164,000	道路建設課		
		H24	0	0	0						
		H25	0	453	16,000						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
		平成25年度は、橋梁長寿命化の設計を行った。					大部分の橋梁は河川を跨ぐことから濁水期の工事となり工事期間に余裕がないことから、河川管理者と十分協議を行いながら進めていく。			中尾 能久	

施策の展開方向③無電柱化等の推進

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～H26	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
電線類共同溝の整備 【5-02-01②再掲】	都市計画道路の電線類共同溝の整備を行うことにより、道路構造の保全を図りつつ、安全かつ円滑な交通の確保と良好な景観形成を図る。 (整備延長 三条線 490m×2(両側)・大宮三条本町線 230m)	H23	53,800	12,443	15,681	25,913	0	25,913	街路課		
		H24	51,750	38,693	28,653						
		H25	25,937	54,590	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
		三条線(上三条工区)及び大宮三条本町線については1年の遅れが生じたが、用地取得等を進め平成25年度に電線共同溝の整備を完了した。 平成23年度200m、平成24年度305m、平成25年度254mの整備を行い、全体では平成25年度末で3,274mの延長が完了した。					三条線(三条工区)は用地買収の進捗を図るとともに整備手法を検討し、平成26年度で残延長の86mの整備を完了予定である。 なお、抜柱、入線時期については、各事業者と協議中である。			山上 光明	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
電線類美化事業 【5-02-01②再掲】	<p>奈良の魅力は世界遺産に登録された八資産群はもちろんのこと、歴史を積み重ねた街並みや、そこから望む風景も貴重な文化遺産として守り伝えることが必要である。</p> <p>特にならまち周辺は観光スポットとして注目を浴び、興福寺・元興寺など天平時代の甍を借景とするならまち独自の風景を楽しむ観光客が多くなり、景観を阻害している電線類を美化、軒下配線を行うことにより、快適な歩行空間の創出と景観の保全を図る。</p>	H23	10,000	0	0	10,000	10,000	20,000	道路建設課		
		H24	10,000	0	0						
		H25	500	0	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
		<p>平成23年度は、電線美化事業整備計画案の提示を行い、地元住民とのワークショップを2回開催し、アンケート調査を実施し意見聴取を行った。その結果、事業実施への賛成意見は3割に満たない結果となり、地元住民の意向に沿った計画案の策定に至ることができなかった。</p> <p>平成24年度から平成25年度は、他の周辺7自治会の意見を聴取したが賛同は得られなかった。</p>			<p>ならまち周辺においては、事業実施に賛成意見が少ないことから、地元住民及び関係機関と再度協議を行いながら、新たな方策を検討する。また、平成26年度から三条線の無電線化に取り組む。</p>			中尾 能久			

## 基本施策5-05 市街地整備

## 施策5-05-01 市街地整備の推進と適正な誘導

## 施策の展開方向①駅周辺地区の整備

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～H26	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
J R奈良駅周辺整備 事業	<p>国際文化観光都市である奈良の玄関口として、J R奈良駅の東西駅前広場や駅周辺を整備することにより、ふさわしい街並みの形成を目指し、街の質の向上、観光客の誘致や市民交流など賑わいの拡大を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ J R奈良駅東口駅前広場整備 面積 6,800㎡</li> <li>・ J R奈良駅西口駅前広場拡張整備 面積 618㎡</li> <li>・ 三条本町線(都市計画道路事業) 延長 280m</li> <li>・ J R奈良駅東口昇降施設上屋整備工事</li> <li>・ J R奈良駅周辺整備 626号線 延長 200m 628号線 延長 90m 等</li> </ul>	H23	272,000	17,763	285,500	40,000	0	40,000	J R奈良駅 周辺整備 事務所		
		H24	939,600	957,424	204,120						
		H25	506,400	399,673	257,380						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
		<p>平成23年度は雨天時の歩行者利便性のため、東口駅前広場デッキ・階段・エスカレーターに屋根を設置した。平成24年度は西日本旅客鉄道株式会社からの用地取得を行い、駅前広場及び三条本町線の整備工事の契約及び施工を行った。平成25年度は引き続き駅前広場及び三条本町線、626・628号線の整備工事を施工した。</p>			<p>東口駅前広場の整備については、奈良樞原線の拡張工事と整合性を図る必要があるため、事業者である県と調整を行う。</p> <p>平成26年度は、供用開始に向けて管理協定締結をすべく、関係課や西日本旅客鉄道株式会社などと協議を行い事業を推進する。また、西口駅前広場を整備する。</p>			藤田 佳久			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課	
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27		H26～H27 合計
J R奈良駅南特定土 地区画整理事業	J R線の連続立体交差事業との整合を図りながら、周辺市街地と調和のとれた健全な市街地の形成を目指し、都市計画道路・公園など公共施設の整備改善を行い、宅地の利用増進を図り、良好な居住環境を創造する。  施行面積 14.6ha 都市計画道路 1,169m 区画道路 4,108m 公園 A=4,400㎡ 調整池 1か所	H23	448,000	264,573	144,500	290,900	254,000	544,900	J R奈良駅 周辺整備 事務所
		H24	298,600	309,778	98,200				
		H25	167,600	176,470	37,757				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名	
平成23年度は道路舗装、街路灯設置、立入防止柵設置、建物等移転補償を行い、平成24年度は区画道路整備、建物等移転補償を行った。平成25年度は区画道路整備136m・建物移転補償等5件を行った。区画整理事業施行済面積は、平成23年度で6.7ha、平成24年度で7.1ha、平成25年度で7.4haとなった。 建物の損失移転補償交渉は、個々の事情により時間を要するものの、少しずつ進んでいる。			宅地造成が完成した区域から使用収益を開始しているが、一部の地権者の協力が得られていない。また、宅地造成に伴う建物移転の補償交渉は少しずつ進んでいるが、時間を要している。 引き続き、地権者に協力を求めながら、粘り強く交渉等を行い、早期完成を目指す。			藤田 佳久			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課	
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27		H26～H27 合計
近鉄大和西大寺駅周 辺の交通環境改善 (近鉄大和西大寺駅 北地区) 【5-03-01③再掲】	市街地再開発事業に代わるまちづくり整備計画を立案し、市街地再開発事業の都市計画の廃止手続等が平成22年8月に完了した。 駅前広場や駅南北歩行者専用道等の整備を行い、都市基盤施設の強化を図る。 駅前広場 : 面積約4,000㎡ 歩行者専用道 : 北口昇降部分(階段等) 区画道路 : 延長103m、幅員6m	H23	800	630	0	318,000	688,435	1,006,435	西大寺駅周 辺整備事務 所
		H24	59,200	0	64,000				
		H25	328,000	36,584	10,000				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名	
平成23年度は、駅南北歩行者専用道計画の指標作成のため、菖蒲池8号踏切交通量調査を実施した。 平成24年度は、12月に事業認可を受け、駅前広場を整備するための詳細設計委託の契約を行った。 平成25年度は、詳細設計及び建物等補償鑑定、測量設計を実施した。			都市基盤施設が脆弱なため、交通渋滞の緩和や交通環境の改善等の課題があり、用地買収を進め、駅前広場の整備を行っていく。			西野 恵次			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計	
近鉄西大寺駅南土地 区画整理事業	<p>スプロール化による都市環境の悪化を防止するため、土地区画整理事業を行い、都市計画道路をはじめとして街路・公園その他の公共施設の整備、並びに宅地の利用増進を図るとともに、地区計画制度の導入により、良好な市街地の整備を図る。</p> <p>施行面積A=30ha 都市計画道路築造L=1,737m 区画道路築造L=7,572m 整地A=20ha 駅前広場A=5,700㎡</p>	H23	278,400	163,685	112,875	249,500	1,000,000	1,249,500	西大寺駅周辺整備事務所
		H24	251,100	208,434	131,354				
		H25	327,000	321,518	133,600				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針		
<p>建物等移転のための補償交渉を行うとともに、平成23年度は公園整備、移転補償、歩行者専用道設計等を行い、平成24年度は区画整備、仮設トイレ新築、移転補償等、発掘調査を行った。平成25年度は区画整備、移転補償等6件、発掘調査A=223㎡を行った。</p> <p>また、区画整理事業施行済面積は、平成23年度で25.0ha、平成24年度で25.6ha、平成25年度で26.1haとなった。</p>					<p>平成29年度に事業を完了することを目指し、今後も積極的に補償交渉を行い、発掘調査及び整備工事を円滑に推進していく。</p>			西野 恵次	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計	
西ノ京駅周辺地区等 の整備 【5-04-01①「都市 計画道路の整備」、 5-04-01②「道路橋 梁新設改良事業」の 内数】	<p>世界遺産の薬師寺、唐招提寺を包含し、バッファゾーンとなっている西ノ京地区において、その良好な歴史的環境の保全と生活環境の向上を目指し、駅前広場や道路の新設等の基盤整備を行う。</p> <p>①西ノ京駅東口駅前広場 A=5,900㎡ ②市道中部第338号線 A=3,000㎡ ③(都)西ノ京駅前線 L=650m ④(仮称)西ノ京西南北線 L=175m ⑤西ノ京六条線 L=470m ⑥市道中部第485号線 L=529m ⑦旧五条大路跡文化的環境空間整備 A=4,400㎡</p>	H23	38,600	72,323	0	47,900	430,000	477,900	都市計画課 道路建設課 街路課
		H24	196,300	91,357	36,343				
		H25	90,000	41,084	35,996				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針		
<p>⑤の用地取得を平成23年度1,281㎡、平成24年度1,628㎡行い、大池の堤防を利用する部分の詳細設計及び乾川を跨ぐ橋梁詳細設計は平成25年度に完了した。また、④の道路詳細設計、橋梁予備設計を行った。①③⑦は西ノ京地区歴史的環境整備計画の一部ルート変更計画の策定及び学識経験者等で構成するアドバイザー会議での意見を踏まえ最終計画(案)を策定し、平成24・25年度は地権者等との合意を図るため地元説明会を開催した。</p>					<p>②⑥の道路事業に対し、地元関係者と協議を行い、用地取得及び詳細設計を進める。④は用地確定を行い用地取得を進める。</p> <p>①③⑦の街路事業は、関係機関と協議を行い、都市計画決定後、事業認可を得て事業を実施する。</p>			喜多 六宏 中尾 能久 山上 光明	

施策の展開方向②良好な宅地水準の確保

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
宅地開発指導	<p>奈良市の特性を生かし、均衡ある市街地の整備を図るとともに、公共施設や公益施設の整備、良好な住環境の維持保全を図りつつ住みよいまちづくりを進めることを目的とする。</p> <p>一定規模以上の開発行為について、都市計画法及び奈良市開発指導要綱により、公共施設や公益施設など必要な施設の設置の義務づけと指導基準を定め、開発者の理解と協力を得て、一定の宅地水準の確保に努める。</p>	H23	414	225	0	257	257	514	開発指導課		
		H24	278	230	0						
		H25	263	215	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
<p>開発事前協議件数は、平成23年度44件、平成24年度57件、平成25年度54件であった。また、開発面積の合計においては、平成23年度約17.5ha、平成24年度約23.1ha、平成25年度約20.9haであった。</p> <p>民間開発について、開発者の理解と協力のもと、一定の宅地水準の確保が図れた。</p>			<p>今後とも開発者の理解と協力を得ながら一定の宅地水準の確保を図り、住みよいまちづくりを進める。</p>			中原 達雄					

基本施策5-06 公園・緑地

施策5-06-01 公園・緑地の整備

施策の展開方向①公園・緑地の管理や運営の多様化

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
公園管理運営	<p>身近な自然とのふれあいの場所、防災空間、良好な風致・景観を備えた地域の形成等、多くの機能を有している公園・緑地の維持管理を行う。</p> <p>また、グリーンサポート制度、公園ボランティア制度を活用し、市民等との協働による公園・緑地の管理を推進する。</p> <p>老朽化が進む市管理の公園について、公園施設の計画的な維持管理の方針や長寿命化対策を定め、525公園の公園施設長寿命化計画(保全計画や修繕計画)を策定する。</p>	H23	184,595	185,214	0	177,331	249,700	427,031	公園緑地課		
		H24	185,917	184,674	20,285						
		H25	179,772	209,543	30,000						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
<p>公園施設の維持管理については、民間委託と市民との協働による取組を行っており、グリーンサポート制度で平成24年度は118公園、93団体1,580人、平成25年度は121公園、97団体1,994人となり、公園管理率は約23%となった。公園ボランティアは平成24年度は58団体505人、平成25年度は54団体506人の活動により、適正に公園を管理できた。また、平成25年度に255公園について公園施設長寿命化計画を策定した。</p>			<p>平成25年度に策定した公園施設長寿命化計画を基に、計画的な維持管理及び長寿命化を進める。また、市民との協働による取組を推進し、快適かつ安全に利用できる公園を目指す。</p>			田中 実					

施策の展開方向②公園・緑地の整備の推進

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～H24	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計	
鴻ノ池運動公園整備事業	運動施設利用者の多様化するニーズに対応するための施設整備が求められている。そのため、幅広い年齢層にも対応できる休憩施設を備えた、公園全体の憩いの場となる多目的広場の整備を行う。	H23	43,000	13,306	24,584	0	0	0	公園緑地課
		H24	34,500	44,222	3,395				
		H25	0	3,254	0				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名	
平成23年度は、多目的広場への通路の整備と遊具整備等を行い、平成24年度は、屋外便所新設その他工事、整備工事、防護柵設置工事、植栽工事等を行った。平成25年6月末から供用を開始した。						田中 実			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計	
街区公園整備単独事業	街区公園等の経年劣化によるフェンス・あずま屋等の施設の改修及び補修を行う。また、公園利用者の変化に対応した遊具の検討を行い、計画的に健康遊具の設置を進める。	H23	6,000	5,866	0	16,000	26,000	42,000	公園緑地課
		H24	9,500	12,855	0				
		H25	11,000	10,427	0				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名	
平成23年度は、公園施設の改修を6か所、健康遊具設置を4か所行い、平成24年度はフェンス改修、園路改修、排水路改修、園名板改修、スロープ設置等公園施設の改修等を13か所、健康遊具設置を2か所行った。平成25年度は、公園の園路、園内の整備を4か所、公園施設の改修等を3か所、健康遊具設置を2か所行った。			街区公園等の経年の劣化により今後は公園施設の改築・改修の増加が見込まれるため、公園施設長寿命化計画に基づき、改修及び補修を実施する。			田中 実			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計	
公園維持補修事業	街区公園等に設置されている遊具の安全点検を行い、老朽化した遊具の修繕を行う。	H23	17,000	15,862	0	16,000	17,000	33,000	公園緑地課
		H24	17,000	17,320	0				
		H25	17,000	16,998	0				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名	
			平成23年度は園内灯、水道施設、フェンス等の補修を行い、平成24年度は遊具の軽微な修繕、園内灯の灯具の改修及び玉切補修、水道施設の維持補修、フェンスの補修等を行った。平成25年度も公園施設、遊具の補修等を行った。			今後も、街区公園等に設置されている老朽化した遊具等公園施設の維持補修を行う。			田中 実

基本施策5-07 居住環境

施策5-07-01 居住環境の整備促進

施策の展開方向①安全で快適な居住環境の整備促進

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計	
地区計画制度 【5-01-01①再掲】	市街化区域では、相当規模の住宅地事業及び土地区画整理事業等が行われる地区について、基盤施設の整備や生活環境を保全するため、また、市街化調整区域においては、無秩序な開発を防止するとともに、地域の活性化や市街化区域隣接地、幹線道路沿道及び鉄道駅周辺等における土地利用の整序を図るために地区計画制度を活用する。 さらに、良好な住宅地としての環境を保全する地区等についても、市民参加による地区計画制度の導入を図る。	H23	690	259	0	943	943	1,886	都市計画課
		H24	1,001	592	0				
		H25	1,105	147	0				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名	
			新たな地区計画の決定を東登美ヶ丘五丁目地区及び鶴舞東町地区で決定し、地区計画を定めている地区数が35地区となった。 また、あやめ池遊園地跡地地区計画の変更を行い、さらに地区計画の変更に向けた地元の意向に応じ、地元との協議を進めた。			地元要望や地域地区等の変更に伴う地区計画の導入について積極的な対応を行う。 また、変更案の固まった百楽園五丁目地区については都市計画の変更に向けた手続を行う。			喜多 六宏

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
宅地開発指導 【5-05-01②再掲】	奈良市の特性を生かし、均衡ある市街地の整備を図るとともに、公共施設や公益施設の整備、良好な住環境の維持保全を図りつつ住みよいまちづくりを進めることを目的とする。 一定規模以上の開発行為について、都市計画法及び奈良市開発指導要綱により、公共施設や公益施設など必要な施設の設置の義務づけと指導基準を定め、開発者の理解と協力を得て、一定の宅地水準の確保に努める。	H23	414	225	0	257	257	514	開発指導課		
		H24	278	230	0						
		H25	263	215	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
開発事前協議件数は、平成23年度44件、平成24年度57件、平成25年度54件であった。また、開発面積の合計においては、平成23年度約17.5ha、平成24年度約23.1ha、平成25年度約20.9haであった。 民間開発について、開発者の理解と協力のもと、一定の宅地水準の確保が図れた。					今後とも開発者の理解と協力を得ながら一定の宅地水準の確保を図り、住みよいまちづくりを進める。			中原 達雄			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
奈良町景観形成地区 建造物保存整備事業 【5-02-01①再掲】	伝統的な町家が多く残る奈良町の景観を保全し、後世に伝えるために、伝統的な様式の建物を保存し、その他の建築物についても町並みに調和するよう誘導することにより町並みの連続性を保ち、奈良町の良好な歴史的景観を維持し、さらには伝統文化の継承、観光振興と地域の活性化を図る。	H23	30,300	6,672	0	20,000	20,000	40,000	奈良町にぎわい課		
		H24	31,700	22,791	0						
		H25	20,200	19,472	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
平成23年度に、奈良町補助事業に関する相談会を開催して、住民に事業内容を説明した。平成23年度は5件の塀及び外観の修理修景に、平成24年度は6件の修理修景に、平成25年度は8件の屋根・塀・外観の新築・修理修景などに費用の一部を補助した。さらに、「ならまち町家建物内部改修モデル事業」の要綱を策定し、補助金の交付を開始した。					近年、貴重な観光資源である奈良町の町家が急速に減少している。奈良町の伝統的な町並みを保存するには、継続的に町家に住み、活用することが重要である。減少の要因は所有者の高齢化によるところも大きい。若い世代に対しては、現在の生活スタイルや目的に合った内部及び外観改修の効用を周知する必要がある。加えて、空き町家や空き地の減少を目指す施策も検討する。			立石 堅志			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
既存木造住宅一般耐震診断員派遣事業 【4-01-01①再掲】	地震時における人的被害及び建物被害を軽減するため、平成19年度に「奈良市耐震改修促進計画」を策定し、この計画において平成27年度における耐震化率を90%以上をすることを目標とし、地震に対する安全性の向上を計画的に促進する。 「奈良市耐震改修促進計画」の目標を達成するために、昭和56年5月31日以前に建築(旧耐震設計基準)された戸建て木造住宅の地震に対する安全性の評価を行うため、耐震診断員の無料派遣を行い、戸建て木造住宅の耐震化の促進を図る。	H23	3,600	3,375	0	2,778	2,778	5,556	建築指導課		
		H24	3,600	2,070	0						
		H25	3,600	720	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
東日本大震災の発生及び今後予測される巨大地震に対する備えへの必要性は認識されているところであるが、住宅相談等の開催や市の広報紙、ホームページを活用しながら市民に周知を図ったが、派遣件数は平成23年度の75件から平成24年度は46件、平成25年度は16件と減少傾向にある。					地震に対する対策として、現在入居中の住宅が耐震性を有するの可否かを認識していただく必要があるため、今後も引き続き窓口相談や市の広報媒体を活用しながら、市民へ継続して周知に努める。			京谷 善夫			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
ならまち町家バンク 運営事業	近年奈良町では人口の減少や高齢化の進行に加え、古い住宅を取り壊してしまうなど歴史的町並みが損なわれつつある。こうした状況に対し、空き町家に関する情報をデータベース化し、空き町家の所有者と活用希望者との橋渡しを通じた利活用に向けての支援を行うことで、伝統的な町並みの保存と奈良町の活性化を図る。そうした空き町家活用を推進するため「ならまち町家バンク」を設置し、その運営に当たり、町並みの保存や観光振興、地域の活性化を目的に空き家となった町家を観光資源として再生し、利活用することを目指す。	H23	3,400	2,193	0	53,100	33,100	86,200	奈良町にぎわい課		
		H24	2,800	2,397	0						
		H25	33,000	4,717	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
ホームページや自治会への説明会、チラシなどで制度を周知し、物件の調査を実施して詳細な情報を掲載した。平成25年度末での空き町家の登録は3件、活用希望者の登録は81件。これまでに町家バンクによるマッチングは4件成立している。活用希望者に比べて空き町家登録が少ないことが町家バンクによる売買・賃貸借が進んでいない要因となっている。平成25年度から、内部改修に係る補助金の交付を開始した。					町家バンクによるマッチング成立が進まない要因は、空き町家の登録が少ないことと考えられる。そのため、制度周知の機会を増やすとともに、不動産の業界団体との連携を進め、空き町家の所有者へ町家バンクへの物件登録の呼びかけを進める。また、町家所有者や活用希望者に対して、町家の活用事例や町家の内部及び外観改修補助金の活用を積極的に提案し、町家活用の促進を図る。			立石 堅志			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～H25	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
家庭用ソーラーパネル設置補助 【4-02-01②再掲】	再生可能エネルギーの普及を促進し、温室効果ガスの削減を図り、もって地球温暖化対策の推進に資することを目的として、奈良市家庭用ソーラーパネル設置補助金を交付する。 交付対象者は、次のいずれにも該当する者である。 1. 自己の居住の用に供する市内の住宅に家庭用ソーラーパネルを設置した者又は家庭用ソーラーパネルの設置された市内の住宅を自己の居住の用に供するために購入した者 2. 国補助金の交付決定を受けた者	H23	15,100	25,082	0	0	0	0	エネルギー政策課		
		H24	20,100	20,090	0						
		H25	20,144	0	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
平成23年度は、募集枠(250件)を超えたため抽選となったので、平成24年度は、補助単価を1kW当たり5万円、上限10万円から1件5万円に下げ募集件数を400件に増やし、先着順で実施した。			平成26年度以降は、従来の補助金による普及策から、民間活力を生かした普及促進へと切り替え、NARA NEXT 4の目標である1万世帯の設置を目指す。 ソーラーパネルを市民が設置しやすくなるように、市が事業者等と連携し、低価格、保証等があるプランを募集し、優良プランとして登録し、ホームページで紹介するなど、民間活力を生かした普及促進へと切り替える。			中山 富雄					

## 施策の展開方向②市営住宅の整備と活用

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
市営住宅建替事業	市営住宅は、昭和50年代以前に建設されたものが多く存在し、不十分な設備や耐震性及び狭小・老朽化が問題となっている。 建替を進めていくことにより、安全・安心を確保した上で一定の居住水準を備えた快適に住むことのできる住宅の確保を図る。	H23	389,500	145,131	132,300	0	0	0	住宅課		
		H24	6,450	137,654	0						
		H25	0	0	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
平成23年度、平成24年度の2か年をかけて、第11号(杏)市営住宅において14戸(杏南8戸・杏中6戸)の建替を行い、安全・安心と一定の居住水準を確保した住宅の建替を推進した。			200戸のうち72戸の建替が完了したが、128戸が残っている。しかし、財政事情や空き住戸が多く存する状況を考慮し、建替は当面の間見合わせるものとし、空き住戸への住み替えの支援に努める。			岡本 善昭					

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
公営住宅整備事業	<p>対症療法型の維持管理から、予防保全的な維持管理及び耐久性の向上等を図る改善を実施することにより長寿命化及びライフサイクルコストの縮減を図っていく。</p> <p>従前の仕様より効率的かつ効果的な仕様で修繕等を行い安全性・快適性を向上させていく。</p> <p>平成22年3月に策定した長寿命化計画に基づき、事業を進めていく。</p> <p>また、新たに、空き家募集において子育て世帯向けの特定目的住宅を設定し、そのための空き家改修工事を実施する。</p>	H23	87,000	104,580	8,700	32,000	60,000	92,000	住宅課		
		H24	30,000	35,408	0						
		H25	30,000	20,801	24,500						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
<p>屋上防水については、平成23年度に5棟、平成24年度に1棟完了し、全ての棟が完了した。外壁改修については、平成23年度までに6棟が完了し、外壁改修実施率は35%となった。水道直圧化については、平成25年度までに25棟を完了した。このことにより、住宅の長寿命化及びライフサイクルコストの縮減を推進した。</p> <p>また、平成25年度に「奈良市営住宅ストック総合活用計画」を策定した。</p>			<p>奈良市営住宅ストック総合活用計画と長寿命化計画に基づき進めているが、厳しい財政事情を踏まえ、より効率的かつ効果的に改修等を行い、住宅施設の適切な管理・保全を図る。</p> <p>また、新たに、空き家募集において子育て世帯向けの特定目的住宅を設定し、平成26年度は20戸程度の空き家改修工事を実施する。</p>			岡本 善昭					

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
住宅維持補修事業	<p>市営住宅を良好な状態に維持管理するために必要な修繕を行う。</p> <p>また、住宅に困窮する低額所得者に対して住宅を供給するため、空き家募集する住戸の補修を行う。</p>	H23	95,000	98,525	0	115,900	115,900	231,800	住宅課		
		H24	106,415	103,573	0						
		H25	116,400	115,301	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
<p>管理戸数が約2,300戸ある中で、平成23年度に476件、平成24年度に322件、平成25年度に337件の住戸修繕を行い、住宅の機能を良好に維持した。また、空き家募集に際して平成23年度は28件、平成24年度は30件、平成25年度は30件の空き家補修を行い、住宅に困窮する低額所得者に対し住宅の供給を行った。</p>			<p>事業の目的を達成する上において、空き家補修した上で速やかに募集を行うべきであるが、空き家の増加に対して補修が追いついていない。今後、補修工事のコスト縮減を図りながら、より効果的に空き家を供給できるよう努めていく。</p>			岡本 善昭					

基本施策5-08 上水道

施策5-08-01 信頼の水道 未来へつなぐライフライン

施策の展開方向①安心できる水道(水質管理)

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計	
鉛給水管の解消(鉛給水管布設替工事)	<p>平成17年度に「鉛給水管布設替実施計画」を策定し、公設道路部分27,040か所の内、この事業では約半数の13,200か所を平成18年度から31年間で解消する計画である。</p> <p>この事業は、鉛溶出問題の解消と、給水管での漏水原因の約7割を占める鉛管を解消して有収率の向上を図るとともに道路陥没事故の防止を目的とする。</p> <p>なお、鉛給水管は、漏水修繕や改良工事においても解消されていく。</p>	H23	78,469	68,952	0	68,929	100,000	168,929	企業局給水課
		H24	78,937	72,237	0				
		H25	63,597	58,534	0				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針		
		<p>鉛給水管布設替工事1,155か所の予定に対し、1,240か所の鉛給水管の布設替を実施し、予定以上の成果が得られた。</p> <p>平成25年度末現在の実績は、2,900か所実施済みで残り10,300か所である。</p>			<p>平成26年度も残存割合の高い小学校区において、鉛給水管布設替工事330か所を計画している。今後も鉛給水管の解消に向け、積極的な事業推進を図る。</p>			前川 真二	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計	
水質分析機器の整備(機器購入とリース)	<p>水質検査については、水道法に基づき水源の特性や地域性を踏まえ、検査の地点、項目、頻度とその理由などを明記した水質検査計画を毎年度策定し、検査結果を公表している。</p> <p>水道法に定める「水質基準項目」をはじめ、「水質管理目標設定項目」及び「奈良市が独自に行う水質項目」に対して、検査(毎日検査・毎月検査等)を行い、水道水の安全を確保する。</p>	H23	18,701	16,960	0	14,583	29,261	43,844	企業局水質管理課
		H24	15,444	13,170	0				
		H25	14,516	11,007	0				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針		
		<p>平成23年度は劣化がみられた機器3台を更新し、リース終了後譲渡された分析機器4台を継続使用した。平成24年度は2台の機器を更新した。平成25年度は1台の機器を更新し、リース終了後譲渡された分析機器2台を継続使用した。これらの機器の保守点検を行い、延命による経費削減に努め、水質検査計画に基づく検査を実施した。</p>			<p>今後水質基準の改正が行われた場合、現有機器での測定が困難になることもある。機器の更新に当たっては、検査方法の見直し等を十分考慮して整備を図り、検査の精度と信頼性を確保して安全・安心な水を供給できるよう努めていく。</p>			向山 博之	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
水源流域の保全	<p>奈良市の水道水源の流域における開発行為について、「奈良市水道水源保護指導要綱」により指導をしていく。</p> <p>また、水源流域の市村で布目・白砂川水質協議会を設置し、水源林の実態、効用及び整備の必要性を啓発する取組を行うとともに、流域パトロール及びゴルフ場等への要望などの活動を行い、水源の水質汚濁の防止に努めていく。</p> <p>淀川流域としては、淀川水質汚濁防止連絡協議会に参加し、関係機関で水質汚濁情報の交換や汚濁対策を行っていく。</p>	H23	532	532	0	550	550	1,100	企業局水質管理課		
		H24	532	532	0						
		H25	532	550	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
<p>3年間における取組内容として、「奈良市水道水源保護指導要綱」に定める保護区域内の6件の開発行為に対して、要綱に基づいて指導した。</p> <p>流域のゴルフ場(12か所)への農薬・肥料の適正使用要請を毎年1回、水源流域パトロールを毎年4回実施した。</p> <p>これらにより、水源流域保全の啓発を進めた。</p>			<p>指導要綱により、水源流域での開発行為に対し引き続き指導を行う。また、過去に協定書等を締結した事業所に対して、継続的な水源保全を要望する。</p> <p>今後も水質汚濁情報を注視し、事故等の必要時には、関係機関と連絡を取り、河川水質検査を実施して、安全な取水を図る。</p>			向山 博之					

施策の展開方向②頼りになる水道(施設更新と災害対策)

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
緑ヶ丘浄水場排水処理施設改良工事	<p>緑ヶ丘浄水場の排水処理施設は、凍結融解設備と加圧脱水設備の2設備を有しているが、昭和57年度に設置した凍結融解設備は老朽化が進み、故障していることから運転を休止している。</p> <p>このことから凍結融解設備の排水処理施設を更新するため、処理能力76,000m<sup>3</sup>/日の加圧脱水処理施設改良工事(濃縮設備・脱水設備等)を実施する。</p>	H23	28,804	21,260	0	481,950	718,914	1,200,864	企業局浄水課		
		H24	48,300	0	48,300						
		H25	325,500	204,498	169,302						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
<p>平成23年度は、平成21年度及び平成22年度の2か年で行った基本設計に基づき詳細設計委託を計画どおり実施した。</p> <p>平成24年度は、総合評価落札方式により請負業者を決定し、4か年継続事業として改良工事の発注を行った。</p> <p>平成25年度は、土木工事(造成工事・擁壁工事)を施工するとともに加圧脱水機の製作を行った。</p>			<p>平成27年度の竣工に向けて、改良工事を進めていく。</p>			小松 裕五					

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計	
水源・浄水・配水諸設備の更新事業	水源・浄水・配水の各施設の機能を維持していくため、老朽化又は修理が困難な電気設備、機械設備及び計装設備の更新工事を実施する。	H23	101,953	80,658	0	103,194	130,000	233,194	企業局浄水課
		H24	117,367	100,499	0				
		H25	76,010	63,385	0				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価						課題及び今後の方針	
平成23年度から平成25年度までの取組は、水源設備として白砂・布目沈砂池水質測定機器、浄水設備として緑ヶ丘浄水場の排泥設備操作盤、生成次亜注入調整弁、木津浄水場の汚泥引抜ポンプ設備、また配水設備では黒谷ポンプ所、大洲ポンプ所のポンプ設備、黒髪山配水池の水質機器、鳥見ポンプ所追塩装置などの諸設備の更新工事を実施し、各設備の機能回復を図った。						各施設において、管理・点検を密に行うことにより、設備・機器の延命を図るとともに、施設の重要度及び諸設備の修理頻度や維持費を十分考慮した上で、更新事業を実施していく。			小松 裕五

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計	
大洲第2幹線(口径800mm)布設工事	緑ヶ丘浄水場から西部地区に送水している管路は、大洲幹線(口径1,100～900mm)しかなく、事故が発生した場合、被害の影響が大きいことから、大洲幹線のバックアップとなる大洲第2幹線(口径800mm、計画延長12,708m)を耐震管で布設し複線化をすることにより安定給水を図る。	H23	215,943	179,495	0	7,830	524,988	532,818	企業局工務課
		H24	279,780	248,932	0				
		H25	133,350	106,860	0				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価						課題及び今後の方針	
平成23年度からの3か年で、ならやま大通りにおける那羅山橋西側から西部地区方向に向け、途中に近鉄京都線の軌道敷横断及び大洲幹線(口径1,000mm)との接続工事を実施し、奈良大学への入口付近まで布設延長903mを計画どおり施工した。平成28年度の完了を目指し、順調に施工中である(残延長1,718m)。						平成26年度は、シールド工事に伴う発進立坑築造を実施する。平成27年度から平成28年度までの2か年で、延長1,718mをシールド工法及び一部開削工法で施工する計画である。			森田 裕

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
配水管の更新・整備 (改良工事)	老朽配水管改良計画に基づき、老朽化した配水管を更新・整備することにより、出水不良と漏水及び赤水発生の防止並びに管路の耐震化を図る。  改良計画延長 ～ 89,417m	H23	254,125	122,856	46,305	294,624	300,000	594,624	企業局工務課		
		H24	251,850	177,763	21,473						
		H25	249,611	154,089	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
平成23年度から平成25年度の3か年で、口径300～50mmの配水管3,232mを耐震管で更新した。  改良済延長 ～ 15,412m 進捗率 ～ 17% 改良残延長 ～ 74,005m					今後も、水需要の減少が見込まれることから管口径のダウンサイジングなどを検討し、緊急度・重要度の高い配水管及び印ろう継手を有する配水管から優先的に更新・耐震化を進める。また、道路工事や他企業との随伴施工により経費の削減に努める。			森田 裕			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H25～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
緑ヶ丘浄水場急速ろ過池設備改良工事 (耐震補強を含む)	緑ヶ丘浄水場の急速ろ過池10池(7号～16号)において、老朽化した機械設備の更新に合わせて耐震補強工事を実施する。	H23	0	0	0	22,680	252,720	275,400	企業局浄水課		
		H24	0	0	0						
		H25	15,750	11,401	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
平成25年度は急速ろ過池構造物付近の土質調査を行うとともに、機械設備改良と耐震補強の詳細設計を行った。					平成26年度から平成29年度までの4か年で施工する計画である。 緑ヶ丘浄水場の急速ろ過池は運用中のため、その急速ろ過池設備改良と耐震補強工事は各池を順番に休止して施工していく必要がある。			小松 裕五			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
緑ヶ丘浄水場耐震診断委託	<p>緑ヶ丘浄水場の急速ろ過西系統(処理量81,000m<sup>3</sup>/日)の急速ろ過池(7号～16号)、沈でん池(3号～4号)、浄水池(7,000m<sup>3</sup>)など7施設を対象に奈良盆地東縁断層帯地震等を想定した耐震診断を実施する。</p> <p>これは、大規模地震に対して緑ヶ丘浄水場の最低限の浄水機能を維持するためのもので、強度に問題のあった施設は設備更新に合わせて耐震補強工事を計画的に実施する。</p>	H23	27,571	18,773	0	0	0	0	企業局浄水課		
		H24	0	0	0						
		H25	0	0	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
<p>平成23年度は、緑ヶ丘浄水場急速ろ過西系統の施設を対象に、奈良盆地東縁断層帯地震、兵庫県南部地震及び東海・東南海・南海地震を想定した耐震診断を実施した。</p> <p>診断した結果、急速ろ過池(7号～16号)をはじめ、6施設の耐震補強工事が必要となった。</p>						小松 裕五					

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～H25	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
須川ダム取水施設管理システム更新工事	<p>須川ダムの取水施設管理システムは、昭和55年度に設置されて耐用年数の切れた老朽化施設であることから更新する。</p> <p>ダム監視操作盤、情報管理装置、通信設備等の更新を図る。</p>	H23	13,666	12,600	0	0	0	0	企業局浄水課		
		H24	68,250	50,056	18,194						
		H25	115,354	128,210	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
<p>平成23年度は、須川ダム取水施設管理システム更新工事の詳細設計委託を計画どおり実施した。</p> <p>平成24年度は、2か年継続事業として更新工事の発注を行い、ダム監視操作盤等の機器の製作を実施した。</p> <p>平成25年度は、ダム監視操作盤、情報管理装置、通信設備等の機器を設置して更新工事を竣工した。</p>						小松 裕五					

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
配水池耐震補強事業	拠点配水池18か所において、平成17年度から3か年で順次耐震診断を行った結果、耐震強度が不足すると判定された10か所の施設について、耐震補強工事等を実施する。 配水池耐震補強工事は、施設の重要度やバックアップ施設の有無などを考慮して優先順位を定めて進めている。	H23	9,345	6,436	0	10,779	39,900	50,679	企業局浄水課		
		H24	19,006	17,305	0						
		H25	0	0	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
平成23年度は、西部地域の配水拠点のひとつである登美ヶ丘配水池の耐震補強工事の設計委託を計画どおり実施した。 平成24年度は、登美ヶ丘配水池の耐震補強工事を実施した。					平成26年度は、大洲幹線が流入する大洲配水池の耐震補強工事の設計委託を実施し、平成27年度からの2か年で大洲配水池の耐震補強工事を実施する計画である。			小松 裕五			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H24	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
木津～緑ヶ丘浄水場間 導送水管(口径600mm)電気防食工事	木津浄水場から緑ヶ丘浄水場へ送水する口径600mm導送水管は、J R関西本線からの迷走電流による腐食で漏水が多発しているため、その防止対策として電気防食設備の設置工事を実施する。	H23	0	0	0	0	0	0	企業局浄水課		
		H24	56,335	30,295	0						
		H25	0	0	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
平成24年度は、外部電源方式の電気防食設備を口径600mm導送水管に設置し、電食による漏水を防止する工事を実施した。								小松 裕五			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H27	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
送配水施設整備計画 事業	<p>将来の水道の安心・安全で効率的な送配水システムを構築するため、平成22年3月に策定した「奈良市水道事業送配水施設整備計画」に基づき、送水管ネットワーク、配水小ブロック等の構築に合わせて基幹管路等の更新・耐震化を、また配水池・ポンプ所の統合整備を行う。</p> <p>整備計画の各事業は、重要度・優先度を考慮して具体的な整備順位を決めていく。</p>	H23	0	0	0	0	1,303,422	1,303,422	企業局経営 管理課		
		H24	0	0	0						
		H25	0	0	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
<p>平成25年度は、給水人口の減少や節水機器の普及などに伴う水需要の減少の影響により、送配水施設整備計画で想定した計画最大給水量が減少し乖離が大きくなってきたことから、その一部検証を実施した。その結果、適正な施設規模の見直しが必要となったことから、それを基に委員会等で、重要度・優先度を考慮した具体的な実施順位を決めるための検討を行った。</p>			<p>今後、送配水施設整備計画の実実施計画を平成26年度中に完了することを目指し、作業部会を密に開催して策定作業を進め、将来の水道の安心・安全で効率的な送配水システムの構築を目指す。</p>			芦田 由樹					

## 施策の展開方向③喜ばれる水道(健全経営とお客サービス)

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
漏水調査	<p>有収率の向上(漏水防止対策)を目的として、昭和52年度から漏水調査を実施している。</p> <p>毎年の調査は、漏水発見の多い地域を対象に行い、全給水区域(東部地域を除く。)に対する調査は、4年に1回実施する。</p> <p>当該調査により早期に漏水箇所を発見することは、貴重な水資源の有効利用と、地下漏水による道路陥没等の二次災害の防止となることから、継続して調査を実施する。</p>	H23	38,618	37,380	0	32,289	39,423	71,712	企業局漏水 対策課		
		H24	34,209	33,600	0						
		H25	33,267	31,185	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
<p>平成23年度は、給水区域全域(東部上下水道管理課管轄を除く。)の調査を実施し、平成24年度及び平成25年度は、漏水発生が多い地域や配管密度の高い地域などの重点地域に対して実施した。平成23年度から平成25年度の合計値の調査距離は3,899km、漏水発生件数は632件で、漏水防止水量は日量3,300㎡の実績となった。</p> <p>このことで、漏水防止効果としては、3か年の平均で約0.4%の有収率の向上が図れた。</p>			<p>平成26年度は、漏水調査対象区域から過去5年間の漏水が少ない地域を75km除外し、調査距離1,133kmを実施する計画で、平成27年度は給水区域全域を調査予定である。鉛給水管の解消事業等により漏水は年々減少しているが、漏水箇所を早期に発見することは、水資源の有効活用及び地下漏水に起因する二次災害の防止が図れることから、継続的に調査を実施していく。</p>			樋口 尚介					

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
情報提供の推進	<p>水道事業の情報公開とお客様との対話を推進して効率的な事業運営を実現するため、積極的な情報提供、広聴活動の充実及び双方向コミュニケーションを図ることとしている。</p> <p>積極的な情報提供としては、企業局ホームページの充実や「奈良すいどうだより」の発行を行い、広聴活動の充実としては、市民アンケート、水道事業懇談会を実施し、また、双方向コミュニケーションとしては、水道週間行事、ダム見学会、小学生の浄水場見学などを行っている。</p> <p>今後も継続して情報公開とお客様との対話を推進し、効率的な事業運営に役立てる。</p>	H23	5,373	4,461	0	4,397	4,397	8,794	企業局経営管理課		
		H24	4,908	3,837	0						
		H25	4,460	3,393	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
<p>平成23年度はホームページの充実として、子ども向けホームページと携帯サイトを追加した。アクセス件数は、平成22年度の約71,000件から平成25年度は約121,000件と1.7倍になった。</p> <p>平成24年度からは、水道週間作品の表彰式はぐくみセンターに変更し、併せて水道教室を開催して内容の充実を図った。表彰式のアンケート結果でもはぐくみセンターでの実施は好評であり、水道事業への理解が深まったと評価している。</p>					<p>今後も平成25年度と同様に事業を実施していくが、特に水道週間の作品募集については、応募数の拡大に向けて取組の強化を図っていく。</p> <p>平成26年度から上下水道の組織統合により企業局となったことから、下水道事業を含めたホームページの充実や広報紙の発行を行い、お客様が必要また興味のある情報を的確に入手できるように努める。</p>			芦田 由樹			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
鉛給水管の解消(鉛給水管布設替工事) 【5-08-01①再掲】	<p>平成17年度に「鉛給水管布設替実施計画」を策定し、公設道路部分27,040か所の内、この事業では約半数の13,200か所を平成18年度から31年間で解消する計画である。</p> <p>この事業は、鉛溶出問題の解消と、給水管での漏水原因の約7割を占める鉛管を解消して有収率の向上を図るとともに道路陥没事故の防止を目的とする。</p> <p>なお、鉛給水管は、漏水修繕や改良工事においても解消されていく。</p>	H23	78,469	68,952	0	68,929	100,000	168,929	企業局給水課		
		H24	78,937	72,237	0						
		H25	63,597	58,534	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
<p>鉛給水管布設替工事1,155か所の予定に対し1,240か所の鉛給水管の布設替を実施し、予定以上の成果が得られた。</p> <p>平成25年度末現在の実績は、2,900か所実施済みで残り10,300か所である。</p>					<p>平成26年度も残存割合の高い小学校区において、鉛給水管布設替工事330か所を計画している。今後も鉛給水管の解消に向け、積極的な事業推進を図る。</p>			前川 眞二			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
水道料金収入の確保	水道事業は水道料金収入から成り立っていることから、未納となっている水道料金を収納するために、督促、催告の順に自主納付を促し、最終的には請求月から3か月後に停水執行を行うことにより、収入を確保している。 このことは、受益者負担の公平性の確保にもつながる。	H23	7,879	7,750	0	8,263	8,263	16,526	企業局料金 お客様課		
		H24	8,080	7,788	0						
		H25	8,137	7,757	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
未収金の回収については、督促状や催告書等による定期的な告知を行うとともに、未納者に対して根気よく連絡を続けることで、未収金の回収を図っている。また、未収金の増加を抑えるため閉栓時の現場精算や無届転出の追跡調査も行ってきた。これらの成果が近年の収入率99.9%として現れており、水道事業の基盤となる収入の確保に努められたと評価している。			今後も引き続き未収金の回収に努めるとともに、新たな委託体制を検討する中で、効率的な徴収業務を実現するための検討を進めていく。			無藤 公三					

## 施策の展開方向④環境に配慮する水道(省エネルギーと環境対策)

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
太陽光発電設備設置 工事(企業局駐車場)	水道事業は電力消費産業であることから、消費電力の削減、即ち二酸化炭素の排出抑制が求められている。 このため、クリーンエネルギーである太陽光発電設備を企業局公用車駐車場の屋根に、その補修に合わせて設置し、少しでも省エネルギーを推進して二酸化炭素の排出抑制に貢献するとともに、環境対策のPRを行っていく。	H23	47,250	39,134	0	0	0	0	企業局工務 課		
		H24	0	0	0						
		H25	0	0	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
太陽光発電設備設置工事(発電設備容量40KW)を企業局公用車駐車場の屋根に、その補修に合わせて計画どおり完了した。 平成24年1月から稼働し、本庁舎の使用電力量の削減に貢献している。						森田 裕					

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
浄水発生土の有効利用 (汚泥ケーキの売却)	<p>浄水場の浄水処理過程で発生する土は、産業廃棄物として処理しなければならない。 この発生土を、園芸用土の母材や植栽客土などとして有効利用することにより産業廃棄物処理が不要となり、環境負荷の大きな低減となることから、今後も発生土の有効利用に努める。</p>	H23	0	0	0	0	0	0	企業局浄水課		
		H24	0	0	0						
		H25	0	0	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
<p>平成23年度～平成25年度は、浄水発生土の全量を園芸用土として売却し、各年度それぞれ1,974t、1,628t、1,446tを有効利用することで、その処理や運搬経費を節減するとともに、環境負荷についても低減することができた。</p>					<p>平成26年度以降も、購入受入れ先の候補調査を行い、より安定的な販路を確保し、全量売却に努める。</p>			小松 裕五			

基本施策5-09 簡易水道

施策5-09-01 水の安定供給

施策の展開方向①安全で安心できる水道

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
月ヶ瀬簡易水道事業 (水質維持・施設管理)	<p>ライフラインである水道水の安全の確保を図るとともに、安定供給することを目的とする。 月ヶ瀬簡易水道施設の老朽化施設の改良(安全管理施設・低水圧解消・取水整備等)を行い、水道事業経営の効率化、健全化を図り、公営企業に移行するための施設整備事業を行う。</p>	H23	45,000	38,079	0	0	0	0	企業局東部 上下水道管理課		
		H24	0	0	0						
		H25	0	0	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
<p>平成23年度は、安全管理に伴う施設整備工事、低水圧区域解消工事、取水施設整備工事は計画どおり実施できた。平成24年度の事業取組は行わなかった。平成25年4月からは、業務は水道局(現企業局)に引き継いだ。</p>								上口 充弘			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
月ヶ瀬簡易水道事業 (水源流域保全)	<p>水道法第2条第1項に基づき簡易水道の水源を保護するため簡易水道水源保護指導要綱を定め、安全で安心な水道水を永続的に供給する。</p> <p>水源の水質を保全するため水源保護地域及び特定保護区域を指定し、地域内に設置する対象施設の事業者と事前協議後協定書を締結し、対象施設の区分に応じた排出水質目標値を遵守するよう指導基準を設け、事業者に対して排出水の測定記録義務を課すとともに指導、助言、勧告並びに施設への立入検査を行うなど水源保護に努める。</p>	H23	0	0	0				企業局水質管理課		
		H24	0	0	0	0	0	0			
		H25	0	0	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
			<p>月ヶ瀬地域内において飲料水製造の新築工場に関わり簡易水道水源保護指導要綱第5条の規定に基づいて事前協議がなされたが、同要綱に定める対象施設には該当しなかったため、協定書の締結は行わなかった。平成25年4月からは、本事業は奈良市水道事業の水源流域保全事業の中で実施している。</p>			向山 博之					

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
都祁簡易水道事業 (水質維持・施設管理)	<p>ライフラインである水道水の安全の確保を図るとともに、安定供給するための施設の整備を行う。</p> <p>水道法第22条に基づき、都祁浄水場の着水井・沈でん池・ろ過池の覆蓋工事を行い、外部からの侵入、毒物、異物等の投げ込みを防ぐことにより、常に安全性の確保に努める。</p>	H23	0	0	0				企業局東部上下水道管理課		
		H24	0	0	0	0	0	0			
		H25	0	0	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
			<p>平成23年度、平成24年度の事業取組は行わなかった。平成25年度4月からは、業務は水道局(現企業局)に引き継いだ。</p>			上口 充弘					

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
都祁簡易水道事業 (水源流域保全)	<p>水道法第2条第1項に基づき簡易水道の水源を保護するため簡易水道水源保護指導要綱を定め、安全で安心な水道水を永続的に供給する。</p> <p>水源の水質を保全するため水源保護地域及び特定保護区域を指定し、地域内に設置する対象施設の事業者と事前協議後協定書を締結し、対象施設の区分に応じた排水水質目標値を遵守するよう指導基準を設け、事業者に対して排水の測定記録義務を課すとともに指導、助言、勧告並びに施設への立入検査を行うなど水源保護に努める。</p>	H23	0	0	0	0	0	0	企業局水質管理課		
		H24	0	0	0						
		H25	0	0	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
<p>都祁地域内において住宅設備機器・住宅部材・木工製品製造工場の増築工事に関わり簡易水道水源保護指導要綱第5条の規定に基づいて事前協議がなされたが、同要綱に定める対象施設には該当しなかったため、協定書の締結は行わなかった。平成25年4月からは、本事業は奈良市水道事業の水源流域保全事業の中で実施している。</p>								向山 博之			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H25～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
奈良市月ヶ瀬簡易水道事業	<p>月ヶ瀬簡易水道事業は公営企業化され、平成25年4月に水道局(現企業局)へ移管された。今後、公営企業として経済性を発揮しながら安定で安心した水道運営を図れるよう検討する。</p>	H23	0	0	0	0	0	0	企業局東部上下水道管理課		
		H24	0	0	0						
		H25	0	0	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
<p>4浄水場の現状施設運転・配水区の把握に努め、各配水区の給水量と浄水能力を照査した。その結果、1浄水場を休止しても現状の給水量に影響が無いことが判明したため、平成25年12月から運転を休止した。</p>					<p>急傾斜地が多く、適正水圧での水供給に苦慮している。安定した水圧での供給に向けた検討が必要である。</p>			上口 充弘			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H25～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
奈良市都祁水道事業	都祁水道事業は、3つの簡易水道施設を統合し上水道化され、平成25年4月に水道局(現企業局)へ移管された。今後、公営企業として、経済性を発揮しながら安定で安心した水道運営を図れるよう検討する。	H23	0	0	0	0	0	0	企業局東部 上下水道管 理課		
		H24	0	0	0						
		H25	0	0	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
<p>基幹浄水場である、都祁浄水場の施設能力検証を平成25年10月に行った。その結果、現状の給水量を賄える能力が検証されたことから、施設の古い北部浄水場の運転休止に向けた検討を行った。</p>			<p>旧簡易水道施設を利用した給水であるため、小規模な配水池が点在し非効率な水供給運転を行っていることから、今後浄水場も含め安定した運転手段を検討していく。</p>			上口 充弘					

## 施策の展開方向②簡易水道の健全経営の推進

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～H24	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
月ヶ瀬簡易水道事業 (公営企業法適用化)	<p>新市建設計画に基づき、奈良市簡易水道事業の地方公営企業法適用化業務を進め、合併協定書に基づく水道局(現企業局)への移管に向けての整備を行うことを目的とする。</p> <p>地方公営企業法適用化に向けた奈良市簡易水道の資産調査、評価、計上業務、並びに水道局(現企業局)への移管に向けての給水装置工事台帳の調査、作成業務、配水管布設図作成及びマッピングシステムの構築業務、認可業務、集中管理システムの改造、水道料金オンラインシステムの構築業務等を行う。</p>	H23	6,289	5,372	0	0	0	0	企業局東部 上下水道管 理課		
		H24	2,518	0	0						
		H25	0	0	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
<p>平成23年度は、水道施設管理図を管理システムへ入力するためのデータ化業務及び占用許可書のマイクロフィルム作成業務を実施した。平成25年3月末に本事業は終了し、事業は水道局(現企業局)に引き継いだ。</p>						上口 充弘					

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～H24	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計	
都祁簡易水道事業 (公営企業法適用化)	<p>新市建設計画に基づき、奈良市簡易水道事業の地方公営企業法適用化業務を進め、合併協定書に基づく水道局(現企業局)への移管に向けての整備を行うことを目的とする。</p> <p>地方公営企業法適用化に向けた奈良市簡易水道の資産調査、評価、計上業務、並びに水道局(現企業局)への移管に向けての給水装置工事台帳の調査、作成業務、配水管布設図作成及びマッピングシステムの構築業務、認可業務、集中管理システムの改造、水道料金オンラインシステムの構築業務等を行う。</p>	H23	13,661	11,957	0	0	0	0	企業局東部 上下水道管理課
		H24	4,454	4,454	0				
		H25	0	0	0				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価		課題及び今後の方針			課長名		
		<p>平成23年度は、水道施設管理図を管理システムへ入力するためのデータ化業務及び占用許可書のマイクロフィルム作成業務は計画どおり実施した。平成24年4月、都祁地区簡易水道事業を統合するための水道事業申請書等作成業務委託を行い認可を受けた。平成25年3月末に本事業は終了し、事業は水道局(現企業局)に引き継いだ。</p>			上口 充弘				

基本施策5-10 下水道

施策5-10-01 下水道の整備

施策の展開方向①下水道整備の推進

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計	
浄化槽設置整備費助成事業	<p>公共下水道の整備が予定されている区域以外の区域や農業集落排水事業の実施が計画されている区域以外の区域において、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、浄化槽設置整備にかかる費用の一部に対し助成を行うもので、計画では年次45件の整備を予定している。</p>	H23	35,376	27,932	0	24,906	35,376	60,282	環境政策課
		H24	32,042	27,370	0				
		H25	29,724	20,922	0				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価		課題及び今後の方針			課長名		
		<p>生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するために、個人からの申請に基づき助成を行った。平成23年度の件数は35件、平成24年度の件数は34件、平成25年度の件数は27件であった。</p>			<p>生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するために、下水道整備及び農業集落排水事業実施が予定されていない区域について、浄化槽の整備を推進する。</p>			油谷 彰浩	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計	
下水管渠布設事業	<p>下水道は、市民生活環境の改善、公衆衛生の向上及び河川等公共水域の水質保全を目的としている。</p> <p>公共下水道管渠を道路下に埋設し下水を収集し処理場に送る。</p> <p>昭和26年から公共下水道事業を推進してきたが、その整備状況は、公共下水道普及率(人口比率)が平成25年度末で91.12%となった。今後は、家屋密集地以外の家屋の点在している地域においても整備を進める。</p>	H23	406,000	308,357	126,048	184,000	288,000	472,000	企業局下水道建設課
		H24	325,000	349,160	127,248				
		H25	254,000	231,290	128,765				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名	
<p>事業認可区域6,652haのうち、平成24年度は3,53ha、平成25年度は5,98haを施工し、処理区域が4,973.37haとなり、整備率が74.8%となった。普及率は平成24年度91.0%から、平成25年度91.1%に増加した。</p> <p>平成25年度は、西ノ京町、あやめ池北一丁目、西大寺本町、山町、三碓六丁目等の整備を行い、整備率、普及率向上につながった。</p>			<p>生活基盤の重要な施設である下水道の整備を促進し、社会情勢等の変化や環境対策への要請を踏まえ、計画的かつ効率的な整備を進め、平成27年度に目標である普及率91.3%の達成を目指す。</p>			橋本 雄司			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計	
合流式下水道改善事業	<p>市の旧市街地に整備されている合流式下水道の環境を改善し、下流水域への汚濁負荷の削減を目指す。</p> <p>雨天時の合流下水の流出量増大を防ぐため、計画に基づく増強管や分水幹線の整備、大安寺貯留施設の整備、雨水吐き室の改良などの地域の実情に応じた合理的かつ効果的な改善を行う。</p>	H23	36,000	31,072	0	0	300,000	300,000	企業局下水道総務課 企業局下水道建設課
		H24	199,000	102,875	86,120				
		H25	139,530	146,778	78,872				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名	
<p>平成23年度は、合流式下水管渠の能力や現況を調査し、芝辻増強幹線の実施設計や合流区域にある12か所の雨水吐き室の能力に見合った簡易型スクリーン(夾雑物除去柵)設置の実施設計を行った。</p> <p>平成24年度は、スクリーン設置工事が完了し、芝辻増強幹線工事に着工した。平成25年度も引き続き芝辻増強幹線の工事を行った。</p>			<p>増強管や分水幹線の整備、貯留施設の整備などを計画的に行う。いずれの事業も大規模なものであり、工期が長期にわたることや、巨額な事業費が必要となる。</p>			沢田 一彦 橋本 雄司			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
浸水対策事業(下水道)	本市の合流区域における浸水被害の軽減・最小化及び解消を目的として事業を行う。雨天時の流水量増加時に対応できるよう増強管や分水幹線の整備などの浸水対策管渠を地域特性に応じて合理的かつ効果的に敷設を行う。	H23	30,000	4,830	0	300,085	100,000	400,085	企業局下水道建設課		
		H24	33,000	0	0						
		H25	79,470	32,662	46,808						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
平成23年度は合流式下水管渠の能力や現況を調査し、芝辻増強幹線の実施設計を行った。平成25年度は芝辻増強幹線築造工事を行った。					事業費については、多額であるが可能な限り、国庫補助金を活用していく。平成24年度から平成26年度までの3か年事業において、芝辻増強幹線の整備を行う。今後、浸水被害の軽減等を目的として分水幹線支線工事を行う。			橋本 雄司			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～H26	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
農業集落排水施設整備事業	本市東部地域の生活環境の改善、農業用水及び河川等の水質改善を行う。対象地域は、邑地町、丹生町、大保町、水間町であり、処理対象面積は46ha、全体管路延長は24,205mである。なお、農業集落排水施設整備事業は、平成26年度完了予定である。	H23	421,500	263,870	155,600	20,000	0	20,000	企業局下水道建設課		
		H24	218,000	330,234	132,900						
		H25	116,000	246,659	110,000						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
平成23年度から平成24年度は管路L=12,940m、中継ポンプ21か所の整備計画に対し、実施は管路L=14,378m、中継ポンプ10か所となった。平成25年度は、L=3,750mの計画に対し、管路L=2,037m、中継ポンプ5か所となった。また、工法及び管路計画の再検討を行い、コスト削減を行っている。管路の布設の進捗を図ったことにより、早期の供用が可能となり、地域の水質改善が行われることとなり、早期完了に貢献できた。					事業の平成26年度の完了を目指す。			橋本 雄司			

施策の展開方向②下水道施設の維持管理・更新

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～H25	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
下水道事業の地方公営企業法適用化事務事業	<p>本市の下水道事業は昭和26年に事業着手して以来、計画的に整備を行ってきた。古くからの事業開始により、管渠等の老朽化に対する維持管理費の増大が見込まれるが、経営状況は一般会計に依存したものとになっているため、経営の健全化を図る必要がある。</p> <p>地方公営企業法を適用し、企業会計へ移行することにより、下水道事業の独立採算制・経営基盤の強化・経営状況の明確化を図る。</p>	H23	30,000	26,775	0	0	0	0	企業局下水道総務課		
		H24	50,600	1,145	50,000						
		H25	36,000	3,596	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
<p>平成24年度までの資産調査に基づき下水道資産台帳を作成した。また、平成25年12月議会において、下水道事業の地方公営企業法適用と上下水道組織の統合について議決されたことから、平成26年4月1日から新たに奈良市企業局が発足した。なお、平成25年度は3月31日に打ち切り決算となっており、上記の決算額も打ち切り決算時のものである。以後の支払いは公営企業において未払金として取り扱うこととなる。</p>			<p>下水道事業の地方公営企業法適用により本事業目的は達成された。</p>			沢田 一彦					

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
下水処理場等運営管理事業	<p>公共下水処理場・汚水中継ポンプ場及び農業集落排水処理施設の安全で効率的な維持管理を行う。</p> <p>青山清水園・平城浄化センター・佐保台浄化センター・月ヶ瀬地区浄化センター・朱雀汚水中継ポンプ場・奈良北汚水中継ポンプ場・中登美ヶ丘汚水中継ポンプ場・芝辻汚水中継ポンプ場・精華地区農業集落排水処理施設・田原地区農業集落排水処理施設・東部第1地区農業集落排水処理施設・東部第2地区農業集落排水処理施設・月ヶ瀬地区農業集落排水処理施設の維持管理であり、常に安全で効率的な維持管理ができるよう検討を加えながら進めていく。</p>	H23	470,953	464,327	0	564,512	564,512	1,129,024	企業局下水道維持課		
		H24	487,075	463,882	0						
		H25	486,308	436,471	887						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
<p>安定して適切な管理運営を継続できるよう、各施設について平成24年7月から5年間の運転業務管理委託を一般競争入札にて長期継続契約により締結した。</p> <p>また、器具更新の際には高効率型の導入により維持管理費を節減できるよう努力した。</p>			<p>平成26年度から、企業局として公営企業会計に移行した。これにより、平成25年度までは一般会計で処理していた汚泥処分にかかる費用負担が増加した。今後さらに効率的な処分方法を検討し、経費削減に努める。</p>			阪上日出男					

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課	
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27		H26～H27 合計
下水管渠長寿命化事業	<p>下水道施設の長期的な施設の改築・更新コストの最小化を図るため、耐震化も考慮した長寿命化事業を進める。</p> <p>計画的に老朽化した人孔鉄蓋の交換を実施する。また、施設の老朽化に伴う、極めて重度の破損箇所について部分改築し、当面の危険回避をするための工事を実施する。</p> <p>また、老朽化の著しい佐保川第1処理分区(対象面積435ha)、平城処理区(対象面積311ha)及び大安寺第1処理分区(対象面積984ha)について調査・計画策定を実施し改築工事を行う。</p>	H23	168,000	103,004	15,492	74,400	193,800	268,200	企業局下水道総務課 企業局下水道建設課
		H24	196,000	92,165	94,852				
		H25	68,000	131,254	0				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針		
<p>人孔鉄蓋の交換を平成23年度から平成25年度で212か所実施した。排水渠改良は全体約2,800mのうち平成23年度から平成25年度で約820mを実施した。管路長寿命化は、佐保川第1処理分区及び大安寺第1処理分区について、テレビカメラによる管渠調査を実施している。平成25年度から、平城処理区について管路長寿命化計画策定のための調査に着手した。</p>					<p>人孔鉄蓋布設替工事については、平成25年度に長寿命化計画を策定しており、この計画に基づき老朽鉄蓋の布設替えを進めていく。佐保川第1処理分区・大安寺第1処理分区・平城処理区について、管渠調査を引き続き実施し、長寿命化計画の策定を完了する。長寿命化計画による工事が進捗するまでの間は、重度の老朽箇所について、単独事業で対応する。</p>			沢田 一彦 橋本 雄司	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課	
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27		H26～H27 合計
下水処理場等耐震化事業	<p>地震時においても下水処理場等の処理機能を維持し、水質保全を図るために耐震化工事を行う。</p> <p>平成22年度から平城浄化センターの耐震補強工事に着手している。</p> <p>他の処理場等についても、順次耐震化を進めていく。</p>	H23	100,000	33,104	69,900	20,000	70,000	90,000	企業局下水道維持課 企業局下水道建設課
		H24	138,000	138,910	68,900				
		H25	69,500	95,907	43,977				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針		
<p>平城浄化センターについて、施設を稼働しながら耐震補強を行うため、平成23年度から仮設ルートの設置工事に着手し、平成25年度までに仮設ポンプ水槽、調整槽の躯体工事と、設備の一部が完成した。平成25年度の電気設備工事は、地元調整により発注が遅れたため繰り越した。</p>					<p>平城浄化センターについては、平成26年度で仮設ルートを完成させ、平成27年度から本格的に水槽部の耐震工事を進める。他の処理場等についても具体的な耐震化方法の検討を進める。</p>			阪上日出男 橋本 雄司	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
下水汚泥資源循環事業	平城浄化センターの脱水処理機能アップを行い、機器の過剰な運転時間による劣化を防ぐため、また既に耐用年数を経過した既設機器が故障した際でも、処理必要量の処理を行い、市民生活に影響を及ぼさないようにするため、施設の機器について改築・更新を実施する。	H23	235,000	162,076	0	0	0	0	企業局下水道維持課		
		H24	0	0	0						
		H25	0	0	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
平城浄化センターの汚泥脱水機の増設を行い、脱水処理機能アップを図った。これにより機器の過剰な運転時間による劣化を防ぐとともに、既に耐用年数を経過した既設機器が故障した際でも、処理必要量の処理が可能となり、処理場の汚泥処理の安定化を実現した。								阪上日出男			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H25～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
下水処理場等長寿命化事業	下水処理場等の処理機能を維持し水質保全を図るため、施設の機器について長寿命化計画に基づいた改築・更新を実施する。 既存下水処理場等の長寿命化を推進するために、各施設が有すべき機能の必要性や緊急度に応じて、将来的に合理的な維持管理・改築更新計画を策定し、順次工事を実施していく。	H23	0	0	0	22,000	246,100	268,100	企業局下水道維持課		
		H24	0	0	0						
		H25	9,000	0	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価					課題及び今後の方針			課長名	
平成25年度は、平城浄化センターの第1次の電気機械設備の長寿命化計画の策定を行った。					当面、平城浄化センターの第1次の電気機械設備の長寿命化計画に従い、老朽化した機器の改築更新を効率よく進める。平成26年度から改築工事を実施する。			阪上日出男			

施策の展開方向③下水道に関する普及・啓発活動の推進

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
下水道事業啓発事業	<p>下水道未接続者に対する水洗便所促進用啓発活動、地域社会活動の場を活用して合流式下水道の流下にあたる河川浄化活動等を行い、下水道の役割や効果について啓発活動を推進する。</p> <p>また、水洗便所設置助成事業と併せて、下水道の普及促進を図る。</p>	H23	350	293	0	107	107	214	企業局下水道維持課		
		H24	353	185	0						
		H25	353	131	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
			<p>下水道の普及促進の一環として、地域社会活動の場を活用し、合流式下水道の流下にあたる河川浄化活動等を行った。</p>			<p>水洗便所促進用啓発活動や河川浄化活動等を通して、下水道の役割や効果、下水道への接続の必要性等の周知を行い、下水道普及の更なる促進を図る。</p>			阪上日出男		

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計			
水洗便所設備費助成事業	<p>公共下水道は、汚水の排除、雨水の排除及び公共用水域の水質保全を目的としており、公共下水道処理区域内において早期の水洗化を促進するために、供用開始から3年以内の下水道使用予定者に対し、改造費用の負担軽減を図るもので、計画では年次235件の助成と年次6件の利子補給を行い、水洗化促進を予定している。</p>	H23	3,420	3,332	0	2,263	2,263	4,526	企業局下水道維持課		
		H24	2,420	1,218	0						
		H25	2,520	617	0						
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名			
			<p>汚水・雨水の排除及び公共用水域の水質保全を目的とした下水道の水洗化のため、個人からの申請に基づき助成等を行った。平成23年度は助成281件・利子補給2件、平成24年度は助成115件・利子補給6件、平成25年度は助成61件・利子補給1件であった。</p>			<p>汚水・雨水の排除及び公共用水域の水質保全のために、浄化槽の整備とともに、下水道の更なる普及を推進していく。</p>			阪上日出男		

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課	
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27		H26～H27 合計
水洗便所設備費助成事業(農業集落排水事業)	農業集落排水施設は、農業用排水の水質保全に寄与するため、農業集落排水処理区域内において早期の水洗化を促進するために、供用開始から3年以内の下水道使用予定者に対し、改造費用の負担軽減を図るもので、計画では年次150件の助成と年次4件の利子補給を行い、水洗化促進を予定している。	H23	3,088	260	0	901	901	1,802	企業局下水道維持課
		H24	1,548	347	0				
		H25	1,030	245	0				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名	
農業用排水の水質保全を目的とした下水道の水洗化のため、個人からの申請に基づき助成等を行った。平成23年度は、助成26件・利子補給0件、平成24年度は助成33件・利子補給1件、平成25年度は助成22件・利子補給2件であった。			農業用排水の水質保全のために、浄化槽の整備とともに、下水道の更なる普及を推進していく。			阪上日出男			

## 基本施策5-11 河川・水路

## 施策5-11-01 河川・水路の整備

## 施策の展開方向①治水対策・流域対策

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課	
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27		H26～H27 合計
民間開発に伴う指導	宅地開発等に伴い生じる雨水流出量を抑止し、下流河川に対する洪水負担を軽減するため、開発面積0.3ha以上の開発行為について防災調整池の設置を指導する。	H23	0	0	0	0	0	0	河川課
		H24	0	0	0				
		H25	0	0	0				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名	
開発面積が0.3ha以上の開発行為について治水対策として雨水調整施設の設置の指導を、平成23年度は4か所、平成24年度は3か所、平成25年度は5か所行い、市内の治水対策に寄与することができた。			引き続き、開発面積が0.3ha以上の開発行為について、治水対策として雨水調整施設の設置を指導する。			吉田 俊彦			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計	
普通河川改修事業	市内には県が管理する一級河川が25本、市が管理する準用河川が13本、普通河川が252本、法定外公共物(水路)が約7,500本があり、大雨などによる被害を最小限にするため、改修などの整備を行うとともに治水、浸水対策として継続して工事を実施する。	H23	96,000	53,913	19,200	63,750	71,945	135,695	河川課
		H24	84,400	51,212	47,208				
		H25	71,945	71,935	2,784				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名	
		河道断面の拡大等、河川機能を高めるための改修工事を、平成23年度は6か所、平成24年度は9か所、平成25年度は8か所実施した。流下能力の向上により、河川の氾濫を防ぐことができた。			近年、多発している治水能力を超えるような局地的な集中豪雨による浸水被害を解消するため、緊急性、優先性を考慮し、継続して整備を進める。			吉田 俊彦	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計	
浸水対策事業(河川)	平成11・12年度の集中豪雨により浸水被害のあった危険箇所(29か所)及び近年のゲリラ豪雨などによる浸水被害地域の解消に向けた雨水の流下能力を図る整備を行い、安心・安全な暮らしを目指し生活環境を確保する。	H23	63,400	51,189	3,600	64,000	64,000	128,000	河川課
		H24	164,500	48,881	89,490				
		H25	156,000	109,673	79,644				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名	
		浸水被害のあった危険箇所の対策工事の実施及び浸水被害地域の効果的な対策を図るための浸水対策工事を、平成23年度は5か所、平成24年度は4か所、平成25年度は5か所を実施し、下流域の浸水被害を軽減することができた。 また、平成25年度末で平成11・12年度の集中豪雨により浸水被害のあった危険箇所29か所のうち、浸水対策実施済箇所数は19か所となった。			ゲリラ豪雨などの異常気象が多発しており、浸水原因となる危険箇所の改善を計画的かつ年次的に整備を図る。			吉田 俊彦	

施策の展開方向②親水空間の確保

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計	
関係機関と連携した親水空間の確保	自然と共生できるまちづくりを目指し、河川環境の保全を図るため、自然環境と親水性に配慮した工法により工事を実施する。	H23	0	0	0	0	0	0	河川課
		H24	0	0	0				
		H25	0	0	0				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名	
<p>自然環境と親水性に配慮した工法を用いることにより、多自然川づくりに取り組んだ。 (ポーラスコンクリートブロック積工：平成23年度2か所、平成24年度5か所、平成25年度2か所)</p>			<p>河川は、自然環境を備えた貴重な公共空間であることから、関係機関と連携し、水辺に親しめる多自然川づくりに取り組む。</p>			吉田 俊彦			

施策の展開方向③都市下水路改修

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況(平成23年度～平成25年度)			実施計画(平成26年度～平成27年度)			担当課
		H23～	計画額	決算額	繰越額 (H23・24・25→ H24・25・26)	H26	H27	H26～H27 合計	
都市下水路整備事業	市街地の浸水を防止し環境衛生の向上を図るため、都市下水路事業として整備を実施する。市では、11路線11,730mを管理している。	H23	2,200	1,736	0	8,000	6,500	14,500	河川課
		H24	2,000	1,137	0				
		H25	10,000	2,427	0				
		平成23年度から平成25年度までの取組内容及び評価			課題及び今後の方針			課長名	
<p>浸水被害の解消を図るため、土砂の堆積により、流水断面を阻害していた都市下水路の浚渫と整備を、平成23年度は1か所、平成24年度は1か所、平成25年度は2か所行い、適切な通水の確保に努めることができた。</p>			<p>引き続き、浸水防止、環境衛生の向上を図るべく、計画的に整備を実施する。</p>			吉田 俊彦			